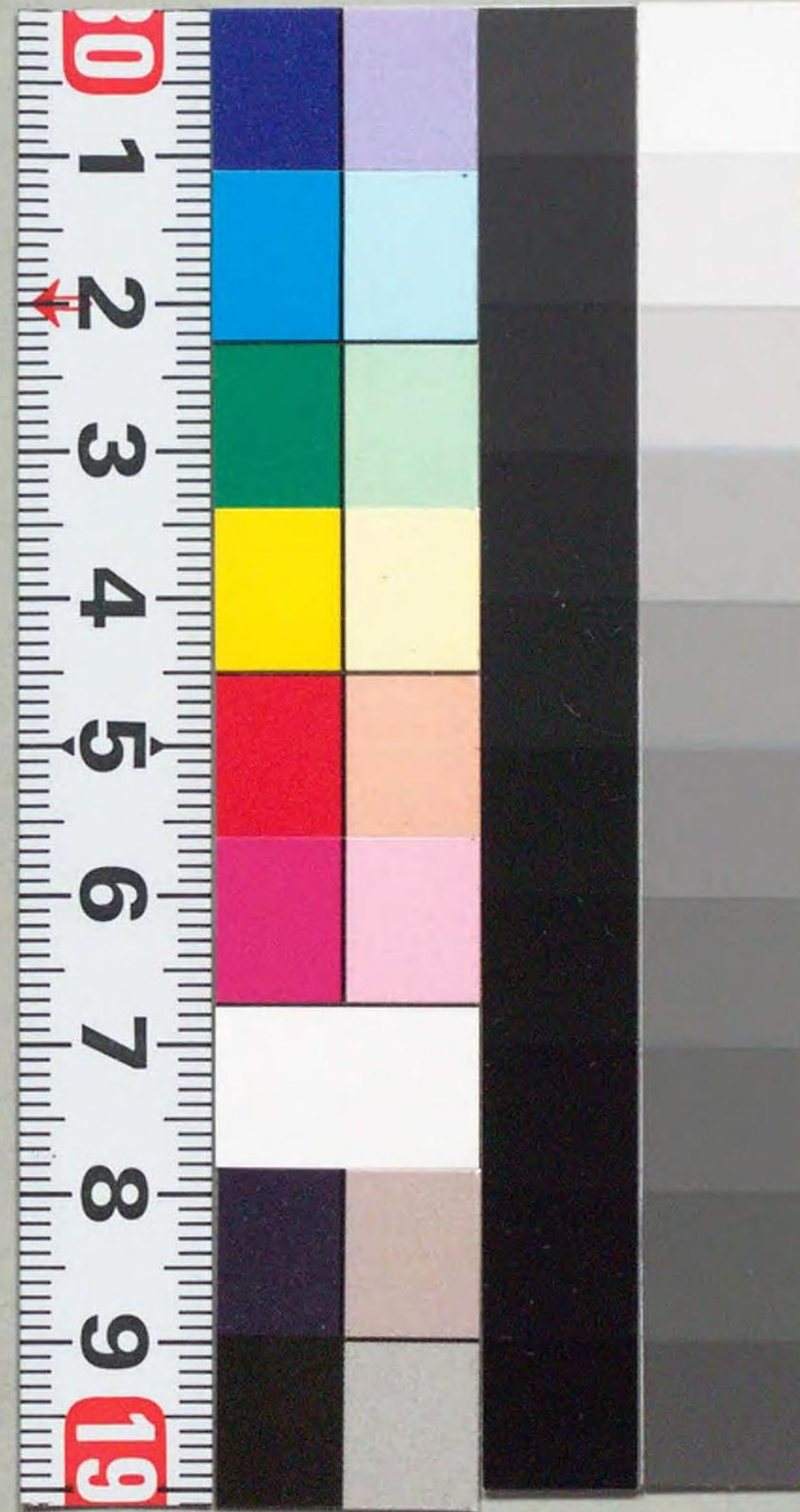


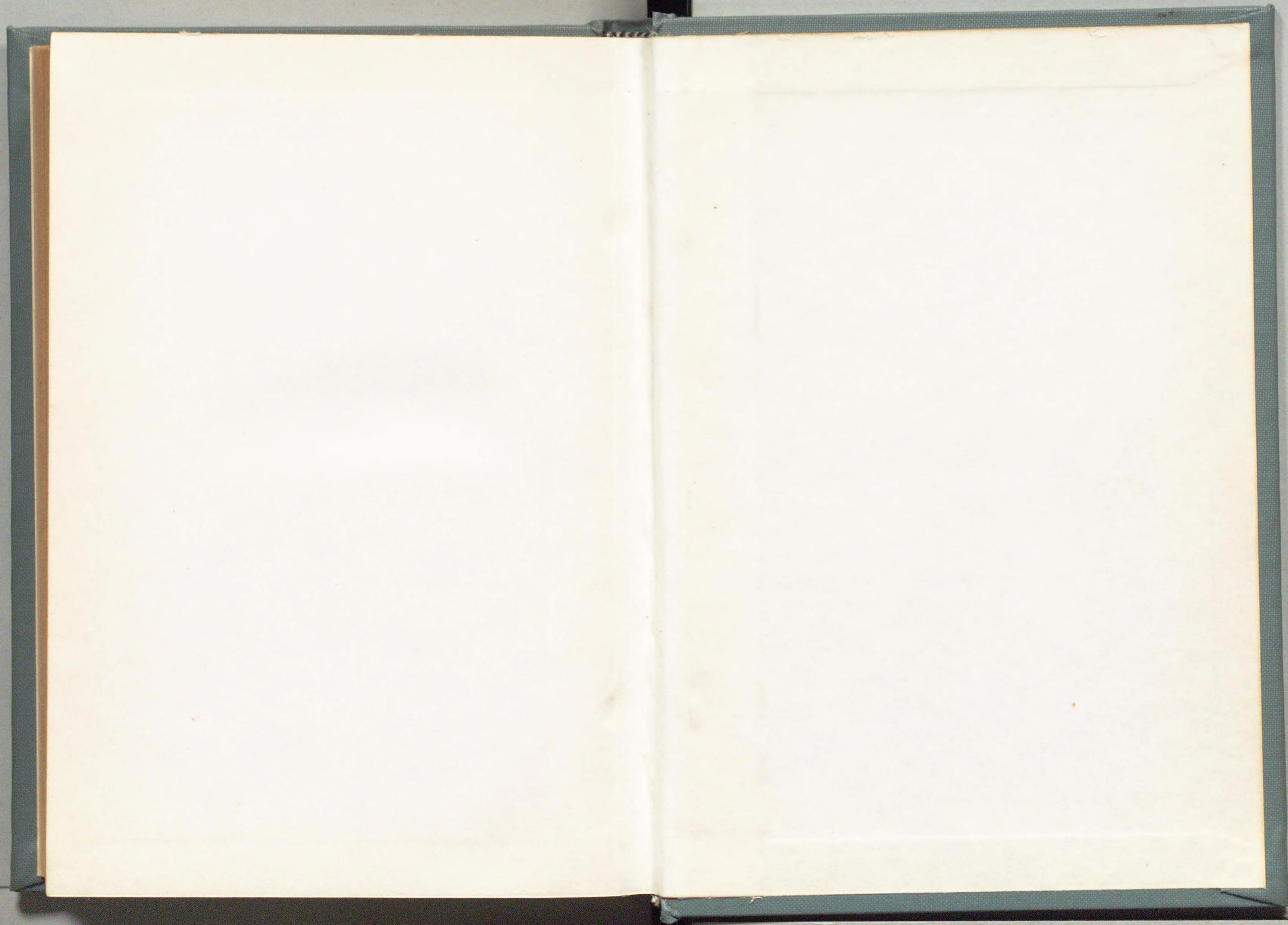
CZ-668-1



1200900286488

禁電子式複写





47+Q-14

第
八
條
關
係

C7

668

/



電力調整令

(昭和十四年十月十八日
勅令第七百八號)

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク電力ノ生産、配給又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ電氣事業者トハ電氣事業法第一條若ハ朝鮮電氣事業令第一條ニ掲グル事業ヲ營ム者又ハ樺太ニ於テ一般ノ需要ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業ヲ營ム者、電氣供給事業者トハ電氣事業法第一條第一號第三號若ハ朝鮮電氣事業令第一條第一號第三號ニ掲グル事業ヲ營ム者又ハ樺太ニ於テ一般ノ需要ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業ヲ營ム者、電氣鐵道事業者トハ電氣事業法第一條第二號又ハ朝鮮電氣事業令第一條第二號ニ掲グル事業ヲ營ム者、自家用電氣工作物施設者トハ電氣事業法第三十條第一項若ハ朝鮮電氣事業令第三十三條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シ若ハ認可ヲ受ケテ強電流電氣工作物ヲ施設シタル者又ハ樺太ニ於テ電壓十ボルト以上ノ自家用電氣工作物ヲ施設シタル者ヲ謂フ

第三條 遞信大臣ハ電力ノ消費者ニ對シ一般的ニ地域、期間、用途又ハ其ノ他ノ事項ヲ指定シテ電力ノ消費ヲ制限若ハ禁止シ又ハ其ノ制限若ハ禁止ノ爲必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得
電氣供給事業者ハ前項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令アリタル場合ニ於テハ電力ノ供給ニ關シ適當ナル措置ヲ講ジ當該事項ノ實施ヲ圓滑ナラシムルコトヲ旨トスベシ

第四條 遞信大臣ハ電氣供給事業者ニ對シ當該供給事業ニ關シ電力ノ供給若ハ受入ヲ命ジ又ハ電力ノ供給ヲ制限若ハ禁止スルコトヲ得

遞信大臣ハ電氣供給事業者ニ對シ前項ノ規定ニ依ル命令、制限又ハ禁止ノ爲當該供給事業ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第五條 遞信大臣ハ發電設備ヲ有スル電氣鐵道事業者若ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ當該設備ニ依ル電力ノ生産若ハ遞信大臣ノ指定スル者ニ對スル供給ヲ命ジ又ハ送電設備ヲ有スル電氣鐵道事業者若ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ當該設備ニ依ル電力ノ輸送若ハ遞信大臣ノ指定スル者ニ對スル供給ヲ命ズルコトヲ得

遞信大臣前項ノ規定ニ依ル命令事項ノ實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スル電氣鐵道事業者又ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ其ノ有スル電氣工作物ニ付修理其ノ他ノ事項ヲ命ズルコトヲ得

第六條 第四條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲ス場合ニ於テ遞信大臣必要アリト認ムルトキハ命令事項ノ實施ノ爲必要ナル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ニ關シ關係ノ電氣事業者、自家用電氣工作物施設者又ハ電力ノ供給ヲ受クル者ニ對シ協議ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第七條 遞信大臣必要アリト認ムルトキハ電氣事業者又ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ電氣

(連十一) 一〇八

(連十二) 一〇九

機械器具其ノ他電氣ニ關スル用品又ハ裝置ノ貸借又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料、讓渡價格其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第八條 遞信大臣ハ第三條第一項若ハ第四條第一項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ第三條第一項、第四條第一項若ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ電氣供給事業者又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 遞信大臣ハ電氣事業者又ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ本令ニ依リテ爲ス制限、禁止又ハ命令ノ通達ニ付事業主ニ代ルベキ管理人ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第十條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條、第五條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ處分ガ期間ヲ指定シテ爲サレタルモノナルトキハ當該期間終了後、其ノ他ノモノナルトキハ處分事項ノ實施終了後之ヲ請求スベシ但シ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ於テ之ヲ請求スルコトヲ得

第十一條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ電力ノ生産、配給若ハ消費ニ關シ必

要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ電氣工作物ヲ施設シタル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十二條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第十三條 本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付行政官廳ノ諮問ニ應ズル爲電力調整委員會ヲ置ク電力調整委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 遞信大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付內閣總理大臣ニ協議スベシ

第十五條 本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ遞信局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

第十六條 第十三條及第十四條ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

(追十一) 一一〇

(追十二) 三一

電力調整令施行規則

(昭和十四年十月十八日 遞信省令第四十六號)

改正 昭和十六年五月三十一日第五十六號、昭和十七年一月十日第三號、昭和十七年八月十九日第九十二號

第一條 新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ増加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ左ノ規定ニ從フベシ

一 新規受電電力若ハ増加受電電力一千キロワット以上ノモノ又ハ現在ノ受電電力（法令ニ依リ認容セラレタル最大電力ヲ謂フ以下之ニ同ジ）三千キロワット以上ノモノニ在リテハ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

二 新規受電電力若ハ増加受電電力百キロワット以上一千キロワット未満ノモノ又ハ現在ノ受電電力五百キロワット以上三千キロワット未満ノモノニ在リテハ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル認可ハ左ノ期日迄ニ之ヲ申請スベシ

- 一 前條第一號ニ該當スルモノ
 - (一) 四月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ十月三十一日
 - (二) 十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ四月三十日

二 前條第二號ニ該當スルモノ

六

- (一) 一月一日ヨリ三月三十一日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ六月三十日
- (二) 四月一日ヨリ六月三十日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ九月三十日
- (三) 七月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ十二月三十一日
- (四) 十月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ三月三十一日

遞信大臣又ハ遞信局長ニ於テ特別ノ事情ニ因リ必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ規定スル期日後ト雖モ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第二條 第一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ之ヲ當該官廳ニ提出スベシ

- 一 電力ヲ必要トスル事由
- 二 豫定電氣供給事業者

(追十二) 三三二

(追十二) 三三三

三 受電電力常時電力、期間常時電力(受電期間ヲ附記スベシ)、特殊電力(受電期間又ハ受電電力量ニ關スル條件ヲ附記スベシ)、補給電力、豫備電力、融通電力ノ別及其ノ合計ヲ記載シ受電電力ヲ増加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記スベシ

四 受電時間

五 受電開始豫定期日受電電力ガ新規受電電力又ハ増加受電電力ニ達スル迄ノ毎月ノ受電豫定(最大電力及電力量)ヲ附記スベシ

六 電力消費装置ノ施設場所道府縣郡市町村名及代表地番ヲ記載スベシ

七 電力消費装置ノ概要新設又ハ増設セントスル電力消費装置ノ種類、用途、容量、筒數及使用周波數ヲ記載スベシ
尙電力ヲ増加シテ使用セントスルモノニ在リテハ現在ノ消費装置ヲ右ニ準ジ附記スベシ

八 受電電力ヲ算定セル根據電力消費装置ノ使用方法ヲ説明シ且新規受電又ハ増加受電後ニ於ケル一日ノ豫想負荷曲線圖ヲ添附スベシ電力ヲ増加シテ使用セントスルモノニ在リテハ最近一年間ニ於ケル毎月ノ受電実績(最大電力及電力量)及最近ニ於ケル一日ノ代表的負荷曲線圖ヲ添附スベシ

第二條ノ二 新ニ三千キロワット以上ノ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ三千キロワット以上増加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ受電開始豫定期日ノ二年以前ニ前條各號ニ掲グル事項ノ概要

第八條關係

七

ヲ具シ遞信大臣ニ届出ヅルコトヲ旨トスベシ

八

前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク遞信大臣ニ届出ヅルコトヲ旨トスベシ

第二條ノ三 受電電力百キロワット以上ノ自家用電氣工作物施設者ハ毎日ノ最大電力及電力量ヲ記録シ二年間之ヲ保存スベシ

第二條ノ四 受電電力五百キロワット以上ノ電力消費者其ノ受電電力ヲ減少シ又ハ受電ヲ廢止シタルトキハ電力調整令第十一條第一項ノ規定ニ基キ遲滞ナク左ノ區別ニ依リ遞信大臣又ハ遞信局長ニ届出ヅベシ

一 減少又ハ廢止前ノ受電電力三千キロワット以上ノモノニ在リテハ遞信大臣

二 其ノ他ノモノニ在リテハ遞信局長

前項ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 減少又ハ廢止シタル事由

二 電氣供給事業者

三 減少又ハ廢止シタル受電電力常時電力、期間常時電力、特殊電力、補給電力、豫備電力、融通電力ノ別及其ノ合計並ニ減少又ハ廢止前ノ受電電力ヲ附

記ス
ベシ

四 減少又ハ廢止シタル期日

(通十二)

三四

(通十二)

三五

第三條 電氣供給事業者別ニ告示ヲ以テ指定スル限度ヲ超ユル電力消費裝置ヲ新設又ハ増設シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ニ對シ電力ヲ供給セントスルトキハ第一條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタル者ニ對シ電力ヲ供給セントスル場合ヲ除クノ外遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第三條ノ二 電氣供給事業者受電電力百キロワット以上五百キロワット未満ノ電力消費者ニ對シ電力ノ供給ヲ減少又ハ廢止シタルトキハ電力調整令第十一條第一項ノ規定ニ基キ遞信局長ニ届出ヅベシ

第四條 電力調整令第六條又ハ第七條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ届出ヅベシ

第五條 電力調整令第六條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ノ正本ニ相手方ノ員數ニ相當スル數ノ副本ヲ添ヘ之ヲ當該命令官廳ニ提出スベシ

一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二 申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ヲ受理シタル當該官廳ハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ當該官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得當該官廳裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ當事者ニ送付スベシ

第八條關係

八ノ一

第六條 電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ハ告示シテ之ヲ爲ス
電力調整令第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止若ハ命令又ハ電力調整令第八條ノ規定ニ基キ
テ爲ス命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

電力調整令第五條、第六條、第七條第一項又ハ第九條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ令書ヲ發シテ
之ヲ爲ス

緊急ノ必要アルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ電信ニ依ルコトヲ得

第七條 電力調整令第九條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ事業主管理人ヲ選任シタルトキ
ハ電力調整令第十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタル
トキ亦同ジ

第八條 電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

第九條 電力調整令第四條乃至第六條、第七條第一項、第九條又ハ第十一條第一項ニ定ムル遞信
大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外遞信局長之ヲ行フコトヲ得

電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ別ニ告示スル所ニ從ヒ地方長官（東京府ニ在リテハ警視
總監）之ヲ行フコトヲ得

第十條 第二條、第四條、第二條ノ四、第五條第一項又ハ第七條ノ規定ニ依リ申請書又ハ届書ヲ
遞信大臣ニ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄スル遞信局長ニ提出スベシ

(追十二) 三六

(追十二) 三七

第三條ノ規定ニ依リ申請書ヲ遞信局長ニ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄
スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ提出スベシ

附則

本令ハ電力調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ニ依ル認可ハ昭和十七年九月三十日迄ニ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ第一
條ノ二ノ規定ニ拘ラズ同年三月三十一日迄ニ之ヲ申請スベシ

附則

本令ハ昭和十七年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ従前第一條及第二條ノ規定ニ依リ申請書ノ提出セラレアルモノニ付テハ仍従前
ノ規定ニ依ル

(別記様式)

本票ノ用紙ノ大サハ國定規格 A7 (74mm x 115mm) トシ中央點線ノ所ヨリニツ折トス

第八條關係

(表面)

電力調整ニ關スル臨檢票

10

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

(通十二)

三八

(通十三)

二三五

官

職 氏

名

遞信省、遞信局
又ハ廳府縣印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムル事得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

電力調整令第十一條 以下ノ規定ニ基キ電力ノ生産、配給又ハ消費ニ關シ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムル事得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

電力調整令施行規則第八條 電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

第八條關係

一一

電力調整委員會官制

(昭和十四年十月二十七日) (總理、遞信)
勅令第七百三十號 (大臣副署)

改正 昭和十七年十一月十五日第七百八十八號

第一條 電力調整委員會ハ中央電力調整委員會及地方電力調整委員會トス

中央電力調整委員會ハ遞信大臣、地方電力調整委員會ハ遞信局長ノ監督ニ屬ス

中央電力調整委員會ハ遞信大臣、地方電力調整委員會ハ遞信局長ノ諮問ニ應ジテ電力調整令ノ施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

委員會ハ前項ニ規定スル事項ニ付關係行政官廳ニ建議スルコトヲ得

第二條 中央電力調整委員會ハ遞信省ニ之ヲ置ク

地方電力調整委員會ヲ置クベキ區域及其ノ名稱ハ別表ニ依ル

第三條 委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 中央電力調整委員會ノ會長ハ遞信大臣、地方電力調整委員會ノ會長ハ遞信局長ヲ以テ之ヲ充ツ

第五條 中央電力調整委員會及地方電力調整委員會ノ委員ハ各三十人以内トス

前項定員ノ外必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第六條 委員及臨時委員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ中央電力調整委員會ニ在リ

(追十三) 二三六
(追十) 二三七

テハ遞信大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ジ地方電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣之ヲ命ズ

第七條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ中央電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣ノ指名スル委員、地方電力調整委員會ニ在リテハ遞信局長ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第八條 委員會ニ幹事ヲ置ク

幹事ハ中央電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ジ地方電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第九條 委員會ニ書記ヲ置ク

書記ハ中央電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣、地方電力調整委員會ニ在リテハ遞信局長之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

第八條關係

地方電力調整委員會名稱及區域

名	稱	區	域
關東地方電力調整委員會		東京府 神奈川縣 埼玉縣 群馬縣 千葉縣 茨城縣 栃木縣 靜岡縣(熱海市、三島市、沼津市、田方郡、賀茂郡、駿東郡及富士郡ニ限ル) 山梨縣	
中部地方電力調整委員會		愛知縣 三重縣(近畿地方電力調整委員會ノ區域ヲ除ク) 岐阜縣(近畿地方電力調整委員會ノ區域ヲ除ク) 長野縣 福井縣(近畿地方電力調整委員會ノ區域ヲ除ク) 石川縣 富山縣 靜岡縣(關東地方電力調整委員會ノ區域ヲ除ク)	
近畿地方電力調整委員會		大阪府 京都府 兵庫縣 奈良縣 滋賀縣 和歌山縣 三重縣(南牟婁郡 新鹿村、荒坂村、南輪内村、北輪内村及泊村ヲ除ク) 二限ル) 岐阜縣(不破郡今須村ニ限ル) 福井縣(大飯郡、遠敷郡及三方郡ニ限ル)	
中國地方電力調整委員會		廣島縣 鳥取縣 島根縣 岡山縣 山口縣	
四國地方電力調整委員會		德島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣	
九州地方電力調整委員會		熊本縣 鹿兒島縣 福岡縣 大分縣 佐賀縣	
東北地方電力調整委員會		宮城縣 福島縣 岩手縣 青森縣 山形縣	
北海道地方電力調整委員會		北海道 新瀉縣	

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ禁止ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十四年十二月十八日 遞信省告示第三千六百八十五號)

改正 昭和十七年八月十四日第千三百三十四號

- 電力ハ左ニ掲グルモノノ用途ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依ル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ除外シタル場合又ハ其ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 ネオンサイン 公共標識用ノモノヲ除ク
 - 二 電飾 屋内照明用ノモノヲ除ク
 - 三 廣告燈 看板燈ヲ除ク
 - 四 屋外用投光器 交通用及作業用ノモノヲ除ク
 - 五 庭園燈 公園ニ施設スルモノヲ除ク
 - 六 多燈式街路燈
 - 七 暖房用電熱器 電氣ストーブ、電氣火鉢及之ニ類スルモノニシテ容量五百ワット以上ノモノニ限ル
 - 八 電氣冷房裝置 作業用及衛生上必要ナルモノヲ除ク

第八條關係

電力調整令第四條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ供給ノ禁止
ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十四年十二月十八日)
遞信省告示第三千六百八十六號

電氣供給事業者ハ左ニ掲グルモノノ用ニ消費セラルベキ電力ヲ供給スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ除外シタル場合又ハ其ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 電氣風呂
- 二 煖房用電熱器 醫療用以外ノモノニシテ新設又ハ増設スルモノニ限ル
- 三 調理用電熱器 新設又ハ増設スルモノニ限ル
- 四 家庭用電氣冷蔵庫 新設又ハ増設スルモノニ限ル
- 五 庭園用電動揚水ポンプ 公園ニ施設スルモノヲ除ク
- 六 エレベーター 傷病者運搬用及貨物運搬用ノモノ並ニ行程十米以上ノモノヲ除ク
- 七 エスカレーター 貨物運搬用ノモノヲ除ク

(通十二) 四二

(通十一) 一一三

電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權ニシテ電力調整令施行規則第九條第二項ノ規定ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ行フコトヲ得ルモノハ左ニ掲グルモノトス

(昭和十四年十二月十八日)
遞信省告示第三千六百八十七號

- 一 電力調整令第三條又ハ第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ニ關シ其ノ實施狀況ヲ監視スル爲同令第十一條第一項ノ規定ニ基キ所屬官吏ヲシテ臨檢検査セシムルコト
- 二 電力調整令第三條又ハ第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ヲ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要アル場合ニ於テ臨時變更又ハ解除スルコト
- 三 電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス禁止ノ實施ニ關シ一般的ニ必要ナル措置ヲ命ズルコト
- 四 其ノ他電力調整令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ地方長官ノ權限ニ屬セシメタルモノ

電力調整令第八條ノ規定ニ依リ昭和十四年十二月遞信省告示第三千六百八十五號ニ依リ消費ヲ禁止セラレ若ハ同第三千六百八十六號ニ依リ供給ヲ禁止セラレ又ハ昭和十六年十一月遞信省告示第二千三百四號ニ依リ消費ヲ制限セラレタル電力ニ對スル電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十五年二月十日)
遞信省告示第三百二十號

改正(昭和十五年十月三十二日遞信省告示第二千九百七十一號)、昭和十六年十一月二十日第二千三百五號

昭和十四年十二月遞信省告示第三千六百八十五號ニ依リ消費ヲ禁止セラレ又ハ同第三千六百八十六號ニ依リ供給ヲ禁止セラレタル電力ニ對シテハ電氣料金ハ之ヲ徵スルコトヲ得ズ
昭和十六年十一月遞信省告示第二千三百四號ニ依リ消費ヲ制限セラレタル電力ニ對スル電氣料金ノ算定ハ左ノ各號ニ依ル

(追十一) 一二四

(追十二) 一二五

- 一 最大電力ニ付制限アリタルモノハ電氣供給規程ニ依リ供給セラルルモノニ付テハ電氣供給規程中當該制限後ノ最大電力ニ相當スル電力ニ適用スベキ電氣料金ニ依リ料金ヲ算定シ電氣供給規程ニ依ラズシテ供給セラルルモノニ付テハ當該制限後ノ最大電力ノ契約最大電力ニ對スル割合ニ應ジ定額料金制ニ依リ供給セラルルモノニ在リテハ其ノ定額料金ヲ低減シ從量料金制ニ依リ供給セラルルモノニ在リテハ其ノ最低料金、準備料金及料率ノ段階ヲ低減スルモノトス
- 二 實際使用最大電力ガ當該制限後ノ最大電力ヲ超エタルトキハ最大電力ノ超過ニ付電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル所ニ從ヒ料金ヲ算定スルモノトス
- 三 使用電力量ニ付制限アリタルモノハ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル最低責任使用量ニ達セザルモノニ付テハ當該制限ノ割合ニ應ジ當該最低責任使用量ヲ低減シ料金ヲ算定スルモノトス
- 三 一定ノ日又ハ時間ニ於ケル電力使用ノ休止ノ方法ニ依リ電力ノ消費ノ制限アリタルモノハ定額料金制ニ依リ供給セラルルモノニ付テハ其ノ休止日數又ハ休止時間數ニ應ジ其ノ定額料金ヲ低減スルモノトス

四 第一號ニ規定スル制限方法及第二號又ハ前號ニ規定スル制限方法ガ同時ニ適用セラルルモノニ付テハ先ヅ第一號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定シタル後第二號又ハ前號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定スルモノトス此ノ場合ニ於テ第一號ノ規定ニ依リ算定セラレタル料金ハ第二號又ハ前號ノ規定ニ依ル料金ノ算定ニ當リテハ第五號ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外之ヲ電氣供給規程又ハ契約ノ料金ト看做ス

五 第一號及第二號ニ規定スル制限方法ガ同時ニ適用セラルルモノニシテ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ第一號ニ依リ低減セラレタル最低料金ニ相當スル電力量ニ達セザルモノニ付テハ第一號ノ規定ニ依リ低減セラレタル最低料金ニ相當スル電力量ト第二號ノ規定ニ依リ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル最低責任使用量ヲ低減シタル電力量トヲ比較シ兩者ノ中低キモノヲ以テ其ノ最低責任使用量トシテ料金ヲ算定スルモノトス

〔參照〕

昭和十四年十二月十八日遞信省告示第三千六百八十五號ハ電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力消費禁止ニ關スル件、同第三千六百八十六號ハ電力調整令第四條第一項ノ規定ニ依ル電力供給禁止ニ關スル件、同第二百三十三號ハ電力調整令第三條第一項ノ電燈用電力ノ消費ノ制

(追十一) 一一六

(追十二) 一一七

限ニ關スル件及同十五年十月二十六日第二千九百十八號ハ電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ制限ニ關スル件ナリ

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ制限

ニ關（左ノ通定メ昭和十五年十一月十二日ヨリ之ヲ施行

ス）スル件

（昭和十五年十月二十六日
逓信省告示第二千九百十八號）

電力ハ別表ニ定ムル限度ヲ超エテ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 逓信大臣又ハ逓信局長ニ於テ簡別的又ハ一般的ニ當該限度ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ

二 地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當
該限度ヲ臨時變更又ハ解除シタルトキ

三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ

（別表）

地域 用途 限度

東北地方南部	第一種需用	百分ノ百
	第二種需用甲類	百分ノ九十
	第二種需用乙類	百分ノ八十五
	第三種需用	百分ノ八十五

（追十一） 一一八

（追十二） 一一九

關東地方	第一種需用	百分ノ百
中部地方	第二種需用甲類	百分ノ八十五
近畿地方	第二種需用乙類	百分ノ八十
中國地方	第三種需用	百分ノ八十

備考

一 地域ハ昭和十五年二月逓信省告示第二千三百三十一號ニ依ル

二 用途ハ昭和十四年十二月逓信省告示第三千八百十號（昭和十五年十月逓信省告示第二千九百五號改正）ニ依ル

三 限度ハ最大電力ニ付テハ法令ニ依リ認容セラレタル契約最大電力、月使用電力量ニ付テハ昭和十五年八月及九月ノ平均月使用電力量、昭和十五年八月及九月ノ使用電力量ナキモノ又ハ特別ノ事情アルモノニ付テハ逓信局長ノ指定シタル電力量ニ依ル

四 本告示施行ノ月又ハ限度ニ變更アリタル月ニ於ケル使用電力量ノ算定ハ日割計算ニ依ル

電力調整令施行規則第三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケベキ
場合(左ノ通指定シ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス)

ノ件 (昭和十六年五月三十一日)
(遞信省告示第千二百九十三號)

- 一 電氣供給規程ニ依リ電力ヲ供給セラルル電動機ニ在リテハ定格出力又ハ其ノ合計十キロワット又ハ十五馬力以上
- 二 電氣供給規程ニ依リ電力ヲ供給セラルル電動機以外ノ電力消費裝置(電燈ヲ除ク)ニ在リテハ定格容量又ハ其ノ合計十キロワット以上
- 三 電氣供給規程ニ依ラズシテ電力ヲ供給セラルル電力消費裝置ニ在リテハ契約電力十キロワット以上

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電燈用電力ノ消費ノ制限
及當該制限ニ關スル同令第八條ノ規定ニ依ル電氣料金其
ノ他供給條件ニ關シ左ノ通定ム

(昭和十六年十一月一日)
(遞信省告示第千二百九號)

第一條 電力ハ左ニ掲グル程度ヲ超エテ電燈ノ用ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ工場、鑛山其ノ
他作業場ノ電燈用ニ消費スル場合、遞信局長ニ於テ特別ノ事情ニ依リ簡別的若ハ一般ノ當該
限度ヲ變更若ハ解除シタル場合又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他
必要ニ因リ簡別的ニ當該限度ヲ變更若ハ解除シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 定額制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クル場合 使用取附總容量ノ限度

昭和十五年二月九日ニ於ケル取附 總容量四百ワット又ハ三百二十燭 ヲ超ユルモノ(ワット制及燭光制 ヲ併用スルモノニ付テハ一燭ヲ 一・二五ワットトシテ計算ス)	總容量ノ百分ノ八十(四百ワット又ハ三百二十燭未 滿ト爲ルモノニ付テハ四百ワット又ハ三百二十燭)
---	--
- 二 從量制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クル場合 消費電力量ノ限度(一月當リ)

(イ) 住宅用

取附總數(休止燈ヲ含マズ以下
之ニ同ジ)十燈以上ノモノ

取附總數十燈ノ場合ハ二十五キロワット時トシ十燈
ヲ超過スル場合ハ之ニ超過燈數一箇ニ付一キロワッ
ト時ヲ加ヘタルモノ

(ロ) 事務所用又ハ營業用

取附總數十燈以上ノモノ

五キロワット時ニ取附總數ヲ乗ジタルモノ

(ハ) 商店用

取附總數十燈以上ノモノ

十キロワット時ニ取附總數ヲ乗ジタルモノ

(ニ) 其ノ他

取附總數十燈以上ノモノ

昭和十四年一月分ニ於ケル消費電力量ノ百分ノ七十

前項第二號ノ事務所用若ハ營業用又ハ商店用ノ區別ハ別表ニ依ル

第一項第二號(ニ)ノ場合ニ於テ昭和十四年一月分ノ消費電力量ナキモノニ付テハ逓信局長ノ指
定シタル電力量ニ依ル

第二條 前條第一項第二號ノ場合ニ於ケル消費電力量ノ量定ハ電氣供給規程ノ定ムル所ニ從ヒ當
該電氣供給事業者ノ行フ毎月ノ積算電力計ノ讀ミニ依ル

定例檢針日ノ變更ニ依リ檢針期間ノ延伸アリタルトキハ延伸日數一日ニ付三十分ノ一ノ割合ニ
依リ前條第一項第二號ノ消費電力量ノ限度ヲ增加ス

(通十一) 11111

(通十二) 四三

第三條 第一條第一項第二號ノ限度ヲ超エテ消費シタル電力量ニ對スル電氣料金ハ電氣供給規程

ニ規定スル料金率ニ拘ラズ一キロワット時ニ付五十錢トシテ電氣供給事業者之ヲ徵收スベシ

第四條 逓信局長ハ第一條第一項ノ限度ヲ超エテ電力ヲ消費シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其
ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 電氣供給事業者ハ電燈用電力ノ消費者ニ對シ第一條第一項第二號ニ依リ當該消費者ノ消
費シ得ル月電力量ノ限度及第三條ニ依ル電氣料金率ヲ通告スベシ

附則

本告示ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年二月逓信省告示第二百三十三號ハ昭和十六年十一月三十日限り之ヲ廢止ス

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力消費ニ關シ左ノ通定

△ (昭和十七年三月十四日) 遞信省告示第四百十號

改正 昭和十七年八月十四日第千三百三十三號

第一條 電力(電燈用電力ヲ除ク)ハ月二日之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 遞信大臣又ハ遞信局長ニ於テ一般的又ハ個別的ニ當該制限ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ
- 二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當該制限ヲ臨時緩和又ハ解除シタルトキ

三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ
前項ノ電力ヲ消費スルコトヲ得ザル日ハ遞信局長之ヲ指定ス

第二項ノ指定ハ電氣供給事業者ヲシテ電力ノ消費者ニ對シ之ヲ通達セシム

第一條ノ二 濁水其ノ他特殊ノ事情ニ因リ遞信大臣又ハ遞信局長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ限り前條ニ規定スル制限日數ニ第二種需用甲類ニ在リテ八月二日、第二種需用乙類及第三種需用ニ在リテ八月三日ヲ限度トシテ追加スルコトヲ得
前條第一項但書ノ規定、同條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(追十二)

(追十二)

第二條 遞信局長ハ前條ノ規定ニ基ク制限ニ違反シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

附則

本告示ハ昭和十七年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十六年十一月遞信省告示第二千三百四號ハ之ヲ廢止ス

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ制限ニ關シ
テハ昭和十七年三月遞信省告示第四百十號ニ依ルノ外本

告示ニ依ル (昭和十七年九月二十三日)
遞信省告示第千三百一號

第一條 電力ハ別表ニ定ムル限度ヲ超エテ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限
ニ在ラズ

- 一 遞信大臣又ハ遞信局長ニ於テ一般的又ハ個別的ニ當該限度ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ
- 二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當
該限度ヲ臨時變更又ハ解除シタルトキ
- 三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ

前項ノ限度ノ基準ハ法令ニ依リ認容セラレタル契約常時電力(期間常時電力ハ其ノ受電期間中
ニ限り常時電力ニ準ズ)ニ對スル昭和十七年四月乃至六月ノ月平均消費電力量トス但シ昭和十
七年四月乃至六月ノ消費電力量ナキモノ、常時電力以外ノ電力ヲ受電スルモノ又ハ特別ノ事情
アルモノニ付テハ遞信大臣又ハ遞信局長ノ指定シタル電力量ニ依ル

第二條 遞信局長ハ前條ノ制限實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ電力ノ消費ヲ停止スベキ日若ハ
時間ヲ指定シ又ハ日、週、旬若ハ半月ニ於ケル消費電力量ノ限度ヲ指定スルコトアルベシ

(通十二) 四六

(通十二) 四七

前項ノ指定ハ電氣供給事業者ヲシテ電力ノ消費者ニ對シ之ヲ通達セシム

第三條 遞信局長ハ第一條ノ規定ニ基ク限度ヲ超エテ電力ヲ消費シタル者ニ對シ當該電力消費者
ノ消費シ得ル電力量ノ限度ノ低減、電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトア
ルベシ

第四條 電氣供給事業者ハ電力ノ消費者ニ對シ第一條第二項ノ規定ニ依ル基準電力量及第一條第
一項ノ規定ニ依リ消費シ得ル電力量ノ限度ヲ通告スベシ

第五條 電力消費者第一條第二項ノ基準電力量ヲ不適當トスル特別ノ事由アルトキハ前條ノ規定
ニ依ル基準電力量ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ一月以内ニ限り理由ヲ具シ當該電氣供給事業者ヲ經
テ遞信局長ニ基準電力量變更方ヲ申出ヅルコトヲ得

附則

本告示ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

地域	用途	限度
東北地方	第一種需用	百分ノ百
關東地方	第二種需用甲類	百分ノ八十
中部地方	第二種需用乙類	百分ノ七十
近畿地方	第三種需用	百分ノ七十
中國地方		
四國地方		
九州地方		

第八條關係

備考

三〇ノ二

- 一 地域ハ昭和十五年二月遞信省告示第二百三十一號（昭和十七年九月遞信省告示第千二百七十七號改正）ニ依ル
- 二 用途ハ昭和十四年十二月遞信省告示第三千八百十號（昭和十七年九月遞信省告示第千二百八十七號改正）ニ依ル
- 三 消費シ得ベキ限度ガ檢針期間中ニ於テ變更シタル場合ノ消費電力量ノ限度ノ算定ハ日割計算ニ依ル

（追十二）

四八

（追十三）

四九

**電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電燈用電力ノ消費ノ制限
及當該制限ニ關スル同令第八條ノ規程ニ依ル電氣料金其
ノ他供給條件ニ關シ左ノ通定ム**

（昭和十七年九月二十三日
遞信省告示第千三百二號）

第一條 電力ハ左ニ掲グル限度ヲ超エテ電燈ノ用ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ工場、鑛山其ノ他ノ作業場若ハ學校、圖書館、公會堂等ノ公共施設ノ電燈用ニ消費スル場合、遞信局長ニ於テ特別ノ事情ニ依リ個別的若ハ一般的ニ當該限度ヲ變更若ハ解除シタル場合又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ於テ保安上其ノ他必要ニ依リ個別的ニ當該限度ヲ變更若ハ解除シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 定額制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クルモノ

使用取附總容量ノ限度

昭和十五年二月九日ニ於ケル取附總容量ノ百分ノ八十（四百ワット又ハ三百二十燭未滿トナルモノニ付テハ四百ワット又ハ三百二十燭）

二 從量制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クルモノ

消費電力量ノ限度（一月當リ）

（イ） 住宅用

第八條關係

三〇ノ三

甲類

契約燈數十燈以下ノ場合ハ二十五キロワット時トシ十燈ヲ超過スル場合ハ之ニ超過燈數一箇ニ付一キロワット時ヲ加ヘタルモノ

乙類

住宅用甲類ノ消費電力量ノ限度ニ十キロワット時ヲ加ヘタルモノ

(ロ) 營業用

甲類

五キロワット時ニ契約燈數ヲ乗ジタルモノ

乙類

七キロワット時ニ契約燈數ヲ乗ジタルモノ

前項第一號ノ場合ニ於テ昭和十五年二月九日ニ於ケル取附容量ナキモノニ付テハ遞信局長ノ指定シタル限度ニ依ル

第一項第二號ノ住宅用甲類又ハ乙類ノ區別及營業用甲類又ハ乙類ノ區別ハ別表ニ依ル

第一項第二號ノ契約燈數ハキロワット契約ニ依ルモノニ在リテハ契約容量一キロワットヲ二十燈トシテ計算ス

第二條 前條第一項第二號ノ場合ニ於ケル消費電力量ノ量定ハ電氣供給事業者ノ行フ毎月ノ積算電力計ノ讀ミニ依ル

定例檢針日ノ變更ニ依リ檢針期間ノ延伸アリタルトキハ延伸日數一日ニ付三十分ノ一ノ割合ニ依リ前條第一項第二號ノ消費電力量ノ限度ヲ増加ス

第三條 第一條第一項第二號ノ限度ヲ超エテ消費シタル電力量ニ對スル電氣料金ハ電氣供給規程

又ハ電力受給契約ニ依ル料金率ニ拘ラズ一キロワット時ニ付五十錢トシテ電氣供給事業者之ヲ徵收スベシ

第四條 遞信局長ハ第一條第一項ノ限度ヲ超エテ電力ヲ消費シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 電氣供給事業者ハ電燈用電力ノ消費者ニ對シ第一條第一項第一號ニ依リ當該消費者ノ使用シ得ル取附總容量ノ限度、同條同項第二號ニ依リ當該消費者ノ消費シ得ル月電力量ノ限度及第三條ニ依ル電氣料金率ヲ通告スベシ

附則

本告示ハ昭和十七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

住宅用甲類 住宅用乙類以外ノモノ

住宅用乙類 北海道、青森縣、岩手縣、秋田縣及山形縣ニ於ケルモノ並ニ積雪多キ等ノ爲點燈

時間長キヲ要スル地方ニシテ遞信局長ノ指定シタル地域ニ於ケルモノ

營業用甲類 事務所、貸事務所、銀行、旅館其ノ他之ニ類スルモノ

料理店、飲食店、席貸、待合、貸座敷、遊戯場、興行場其ノ他之ニ類スルモノ

營業用乙類 商店、公衆浴場、理髮店、下宿、アパート、病院其ノ他之ニ類スルモノ

第八條關係

備考 營業用甲類又ハ乙類ニ屬スルモノニシテ住宅用ヲ兼ヌル場合ハ夫夫營業用甲類又ハ乙類ト看做シ營業用甲類及乙類ノ何レニモ屬スル場合ハ營業用乙類ト看做ス

米穀搗精等制限令

(昭和十四年十一月二十五日) 勅令第七百八十九號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク米穀ノ搗精若ハ酒類及麥酒ノ製造ノ制限又ハ同法第九條ノ規定ニ基ク小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ノ制限ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ於テ酒類及麥酒トハ内地ニ在リテハ酒造税法ノ適用ヲ受ケル酒類及麥酒税法ノ適用ヲ受ケル麥酒、朝鮮ニ在リテハ酒稅令ノ適用ヲ受ケル酒類ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノ、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ノ指定スルモノ、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スルモノヲ謂フ

第二條 業務ニ關シ米穀ノ搗精ヲ爲ス者ハ玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合ガ農林省令ノ定ムル割合ヲ下ラザル限度ニ於テ米穀ノ搗精ヲ爲ズベシ但シ農林省令ノ定ムル特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 酒類又ハ麥酒ヲ製造スル者ハ其ノ製造石數ニ關シ大藏省令ノ定ムル限度ヲ超エテ酒類又ハ麥酒ヲ製造スルコトヲ得ズ但シ大藏省令ノ定ムル特別ノ事由ニ因リ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

大藏大臣ハ大藏省令ノ定ムル所ニ依リ前項但書ノ規定ニ依ル事務ノ一部ヲ稅務監督局長又ハ稅務署長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第四條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第五條 大藏大臣、農林大臣、地方長官、稅務監督局長又ハ稅務署長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ規定ニ依ル制限ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第六條 本令中大藏大臣又ハ農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ稅務監督局長又ハ稅務署長トアルハ樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トス
本令中大藏省令又ハ農林省令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス
酒類及麥酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ハ臺灣ニハ之ヲ適用セズ

(追十二) 一三三八

(追十三) 一三三九

附則

本令ハ内地ニ在リテハ昭和十四年十二月一日ヨリ、朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十二月十一日ヨリ之ヲ施行ス但シ酒類及麥酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ノ施行期日ハ別ニ之ヲ定ム

米穀搗精等制限令第二條及第五條ノ規定ニ依ル米穀搗

三四

精制限規則

(昭和十四年十一月二十五日
農林省令第六十四號)

改正 昭和十七年十二月二十八日第九十一號

第一條 米穀搗精等制限令第二條ノ割合ハ九割六分トス

第二條 左ニ掲グル場合ニ於テハ地方長官ハ米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一 酒類又ハ麥酒ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

二 藥劑ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

三 試験ノ用ニ供ヘル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

四 其ノ他農林大臣ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條 米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申

請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 搗精セントスル米穀ノ數量

二 玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合

三 搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由

四 搗精ノ時期及場所

地方長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

(道十三) 二四〇

(道十一) 一四一

第四條 米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更セ

ントスルトキハ當該地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

附則

本令ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條關係

三五

別記様式
（用紙ノ大サハ日本標準規格A7ト
シ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス）

〔面表〕

（通十一） 一四二

（通十一） 一四三

米穀搗精等制限令第五條ノ規定ニ依ル證票

第八條關係

[面裏]

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名	農林省又ハ 廳府縣印
------------------	---------------

(追十二) 一四四

(追十二) 一四五

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ
報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ
他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ
忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

米穀搗精等制限令第五條 大藏大臣、農林大臣、地方長官、稅務監督局長又ハ稅務署
長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ
規定ニ依ル制限ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、倉
庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコト
ヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證
票ヲ携帶セシムベシ

米穀搗精制限規則第五條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第八條關係

米穀搗精等制限規則第二條第四號ノ事由左ノ通定ム

(昭和十四年十二月一日)
(農林省告示第四百二十八號)

- 一 醫療上必要ナル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
- 二 船舶安全法施行規則ニ規定スル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ヲ航行スル船舶又ハ漁船特殊規則ニ規定スル第二種若ハ第三種ノ從業制限ヲ有スル漁船ノ船用品タル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
- 三 前號ニ掲グル船舶ニ依リ船舶安全法施行規則ニ規定スル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ニ輸送スル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

陸運統制令

(昭和十五年二月一日)
勅令第三十七號

改正 昭和十六年十一月十五日第九百七十號

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク車輛其ノ他陸上ニ於ケル輸送用物資ノ讓渡其ノ他ノ處分及使用ニ屬スル命令、同法第十三條第一項ノ規定ニ基ク陸上運送ノ施設ノ管理、使用又ハ收用、同條第二項ノ規定ニ基ク從業者ノ供用、同法第十六條ノ規定ニ基ク陸上運送ノ設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ制限又ハ禁止、同法第十六條ノ二ノ規定ニ基ク陸上運送ノ設備ノ讓渡其ノ他ノ處分及使用ニ關スル命令、同法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク陸上運送事業ノ開始、委託、讓渡、廢止若ハ休止、陸上運送ノ設備ヲ有スル會社ノ目的變更又ハ陸上運送事業ヲ營ム會社ノ合併ニ關スル命令、同法第十七條ノ規定ニ基ク陸上運送事業者間ニ於ケル統制協定ニ關スル命令、同法第十八條ノ二ノ規定ニ基ク陸上運送ノ設備ノ讓渡人ノ負擔スル債務ノ承繼及其ノ擔保ノ處理ニ關スル事項、同法第十八條ノ三ノ規定ニ基ク陸上運送ノ設備若ハ陸上運送事業ノ讓渡又ハ陸上運送事業ヲ營ム會社ノ合併ニ付テノ租税ノ輕減並ニ同法第十九條ノ規定ニ基ク運送賃其ノ他運輸ニ關スル料金ニ付テノ公告ニ關スル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國ノ營ム運送事業ニ關シ一定ノ人若ハ物ノ運送ヲ拒絕シ又ハ運送ノ順序若ハ方法其ノ他ノ事項ヲ指定シテ運送ヲ引受クルコトヲ得

(追十二)

一四八

(追十二)

一四九

第三條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ運送ノ拒絕、引受若ハ順序又ハ運送品(託送手荷物ヲ含ム以下同ジ)ノ受取若ハ引渡ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第四條 鐵道大臣前條ノ場合ニ於テ陸上運送ノ統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ業務ニ關シ自動車其ノ他陸上ニ於ケル輸送用物資ヲ使用スル者ニ對シ其ノ使用ヲ制限スルコトヲ得

第五條 鐵道大臣必要アリト認ムルトキハ運送品ノ引渡ヲ請求シ又ハ運送品ノ引取ニ應ジタル荷受人其ノ他運送品ノ引取ヲ爲スベキ者ニシテ引取ヲ爲スベキ期間内ニ引取ヲ爲サザルモノニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シ運送品ノ引取ヲ命ズルコトヲ得

第六條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ相當期間繼續シテ運送スル必要アル總動員物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付命令ノ定ムル出貨者ニ對シ當該貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

鐵道大臣前項ノ出貨者ニ對シ同項ノ報告ニ基キ託送ノ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シタルトキハ出貨者ハ已ムヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外其ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ又ハ爲サシムベシ

第七條 鐵道大臣必要アリト認ムルトキハ陸上運送ノ施設ヲ管理スルコトヲ得

鐵道大臣ハ其ノ管理ニ係ル施設ノ運營ニ付事業主又ハ之ニ準ズル者ヲ指揮監督ス

第八條關係

四三

工場事業場管理令第三條乃至第五條(第二條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク)、第七條、第八條、第九條第一項第二項第四項第五項及第十條乃至第十二條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル施設ノ管理ニ之ヲ準用ス但シ同令中主務大臣トアルハ鐵道大臣トシ同令第四條第三號中第十四條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部ヲ行フ官衙ノ長トアルハ陸運統制令第二十八條ノ規定ニ依リ同令第七條ノ管理ニ關スル鐵道大臣ノ職權ノ一部ヲ行フ鐵道局長又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)トス

第八條 鐵道大臣必要アリト認ムルトキハ陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得
鐵道大臣ハ前項ノ規定ニ依リ陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スル場合ニ於テ其ノ從業者ヲ供用セシムルコトヲ得

工場事業場使用收用令第三條、第四條、第五條第一號乃至第五號第七號、第六條乃至第十二條及第十八條乃至第二十八條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル施設ノ使用又ハ收用及前項ノ規定ニ依ル從業者ノ供用ニ之ヲ準用ス但シ同令中主務大臣トアルハ鐵道大臣トシ同令第二十四條第二項、第二十六條及第二十七條中閣令トアルハ命令トス

第九條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上ニ於ケル輸送用物資ヲ所有スル者ニ對シ其ノ者ガ使用ノ目的ヲ以テ所有スル輸送用物資ノ讓渡若ハ貸渡ヲ命ジ又ハ陸上運送事業者其ノ他陸上運送ノ設備ヲ有スル事業者ニ對シ當該設備ノ讓受若ハ借受ヲ命ズルコトヲ得

(追十一) 一五〇

鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送ノ設備ヲ有スル事業者ニ對シ當該事業ニ屬スル陸上運送ノ設備ノ讓渡若ハ貸渡ヲ命ジ又ハ陸上運送事業者其ノ他陸上運送ノ設備ヲ有スル事業者ニ對シ當該設備ノ讓受若ハ借受ヲ命ズルコトヲ得

(追十二) 一五一

前二項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラズ讓渡又ハ貸借ヲ爲スコトヲ得
第十條 前條ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ貸借ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ鐵道大臣之ヲ裁定ス

前項ノ協議ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
第十一條 陸上ニ於ケル輸送用物資ヲ所有スル者陸上ニ於ケル輸送用物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付讓渡、貸渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ鐵道大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十二條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者其ノ他陸上運送ノ設備ヲ有スル事業者ニ對シ當該事業ニ屬スル陸上運送ノ設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得
第十三條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客運送事業ヲ營ム地方鐵道事業者若ハ軌道事業者ニ對シ貨物運送事業ノ開始ヲ命ジ又ハ專用鐵道ノ設備ヲ有スル者ニ對シ旅客運送事業者若ハ貨物運送事業ノ開始ヲ命ジ若ハ一定ノ者ト其ノ設備ヲ共用スベキコトヲ命ズルコトヲ得

鐵道大臣ハ前項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ當該會社

ノ目的ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ陸上運送事業ノ委託、受託、讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ命ズルコトヲ得

第九條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 前條ノ場合ニ於ケル委託、讓渡又ハ合併ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ鐵道大臣之ヲ裁定ス

前項ノ協議ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十六條 鐵道財團、軌道財團、自動車交通事業財團、工場財團又ハ鑛業財團ニ屬スルモノハ第

九條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ原財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ズ

第十七條 鐵道大臣ハ第九條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ鐵道財團、軌道財團、自動車交通事業財團、

工場財團又ハ鑛業財團ニ屬スル物資又ハ設備ヲ讓渡シタル者ヲシテ第十八條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓受人ガ抵當權ノ實行ニ因リ受クルコトアルベキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

讓受人ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十八條 鐵道大臣ハ第九條ノ規定ニ依リ物資又ハ設備ノ讓渡ヲ命ジタル場合ニ於テ當該讓渡人

(追十二) 一五二

(追十一) 一五三

ヲシテ當該物資又ハ設備ノ屬スル鐵道財團、軌道財團、自動車交通事業財團、工場財團又ハ鑛業財團ヲ抵當トスル債務ヲ引續キ負擔セシメ置クコトヲ適當ナラズト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ讓受人ヲシテ當該債務ノ全部又ハ一部ヲ承繼セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル承繼價格其ノ他ノ承繼ニ關スル條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ鐵道大臣之ヲ裁定ス

前項ノ協議ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十九條 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ヲ讓受ケタル場合ニ於テ鐵道財團、軌道財團又

ハ自動車交通事業財團ニ屬スルモノノ全部ヲ讓受ケタルトキハ讓受人ハ當該財團ヲ承繼ス

前項ノ場合ニ於テ當該事業ノ讓受人ニ屬シタル當該財團ハ從前ト同一ノ態様ニ於テ當該債務ヲ擔保ス

第十七條及前條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ヲ讓受ケタル場合ニ於テ鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ニ屬スルモノノ一部ヲ讓受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 第十六條乃至前條ニ規定スルモノノ外第九條ノ規定ニ依リ物資又ハ設備ノ讓渡ヲ命ジタル場合及第十四條ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ命ジタル場合ニ於ケル讓渡人ノ負擔スル債務

ノ承繼及其ノ擔保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ陸上運送事業ノ全部又ハ一部ノ廢止又ハ休止ヲ命ズルコトヲ得

第九條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、運送賃其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定、變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得

第二十四條 鐵道大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鐵道營業法第三條第二項（同法第十八條ノ二ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル公告期間ヲ短縮スルコトヲ得

第二十五條 第九條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ左ノ事項ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ左ノ額トス但シ登録稅法ニ依リ算出シタル登録稅ノ額ガ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

一 合併ニ因ル會社ノ設立

金錢出資ニ依ル拂込株金額及金錢ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財產ノ出資ニ依ル拂込株金額及金錢以外ノ財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ一トノ合計額

二 合併ニ因ル會社資本ノ増加

（追十二） 一五四

（追十二） 一五五

金錢出資ニ依ル増資拂込株金額及金錢ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財產ノ出資ニ依ル増資拂込株金額及金錢以外ノ財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ノ千分ノ一トノ合計額

三 陸上運送ノ設備又ハ陸上運送事業ノ讓受ノ場合ニ於ケル不動産ニ關スル權利ノ取得

不動産ノ價格ノ千分ノ三

第二十六條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ第二十二條ノ規定ニ依ル事業ノ廢止又ハ休止ノ命令ニ因ル通常生ズベキ損失トス

前項ノ規定ニ依ル損失ノ補償請求ノ時期其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ヲ有スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一項ノ規定ニ依ル補償金及當該事業ノ廢止當時當該財團ニ屬シタルモノニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十七條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ陸上運送事業者、陸上運送ノ設備ヲ有スル者、陸上ニ於ケル輸送用物資ヲ使用若ハ所有スル者、運送ノ申込ヲ爲ス者、旅客又ハ貨主ヨリ陸上運送ノ統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ店舗、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコ

トヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十八條 鐵道大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ鐵道局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ委任スルコトヲ得

第二十九條 第九條乃至第十五條、第十七條（第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）、第十八條（第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）、第二十二條、第二十三條、第二十七條及前條中鐵道大臣トアルハ軌道事業ニ關シテハ鐵道大臣及内務大臣トス

本令中鐵道大臣トアルハ前項ノ規定ニ拘ラズ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ鐵道局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府鐵道局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令中官報トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府官報、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府報、樺太ニ在リテハ樺太廳公報トシ不動産登記法トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮不動産登記令トス

第十三條中地方鐵道事業者トアルハ朝鮮及臺灣ニ在リテハ私設鐵道事業者トシ專用鐵道トアルハ臺灣ニ在リテハ個人ノ專用ニ供スル鐵道トス

（追十二） 一五六

（追十一） 一五七

第二十四條中鐵道營業法トアルハ朝鮮ニ在リテハ明治四十五年制令第二十四號ニ於テ依ルコトヲ定メタル鐵道營業法トス

第二十五條ノ規定ハ朝鮮ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十六年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

陸運統制令施行規則

(昭和十五年二月二十四日)
鐵道省令第二一號

改正 昭和十六年十一月十八日第十七號

第一條 陸運統制令(以下單ニ令ト稱ス)ノ施行ニ關シテハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 令第二條ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶シ又ハ引受ケントスルトキハ其ノ旨告示ス但シ第三條第三項ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 令第二條ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶シ又ハ引受ケントスル場合ニ於テハ運送ノ申込ヲ爲ス者ニ對シ令第二十七條ノ規定ニ基キ旅行ノ目的、物ノ種類及性質其ノ他ノ事項ニ關シ申告ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ申告ヲ求ムル場合ニ於テハ其ノ旨及申告ヲ求ムベキ事項ヲ告示ス
前二項ノ規定ニ依ル申告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタルトキハ令第二條ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶ス

第四條 令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シテ之ヲ爲ス

第五條 令第四條ノ規定ニ依リ輸送用物資ノ使用ヲ制限セントスルトキハ左ノ事項ヲ告示ス
一 制限スベキ輸送用物資ノ表示

(連十一) 一五八

(連十一) 一五九

二 制限スベキ期間

三 制限スベキ使用ノ方法

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條 令第四條ノ規定ハ地方公共團體ニ付テハ之ヲ適用セズ

第七條 令第五條ノ規定ニ依ル命令ハ鐵道局長ニ於テ其ノ管轄スル國有鐵道、國營自動車、地方鐵道若ハ軌道ノ驛又ハ小運送業者ノ店舗、倉庫若ハ貨物置場ニ所在スル運送品ニ付左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一 引取ヲ爲スベキ運送品ノ表示

二 引取ヲ爲スベキ期日又ハ期間

三 其ノ他必要ト認ムル事項

第八條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一 米、麥、飼料、砂利、石材、セメント、木材、石炭、薪、木炭、鑽石、石灰石、鐵(鋼ヲ含ム)、肥料

二 前號ノ物資以外ノモノニシテ鐵道大臣特ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第九條 令第六條ノ出資者ハ前條ニ定ムル貨物ヲ國有鐵道、國營自動車、地方鐵道又ハ軌道ニ託送(小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ)セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當ス

第八條關係

五三

ルモノトス

- 一 當該貨物ニ付從前ノ一定期間内ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタルモノ
- 二 前號ノモノ以外ノモノニシテ當該貨物ニ付一定期間内ニ一定數量以上ノ託送ノ豫定ヲ有スルモノ

前項第一號及第二號ノ期間又ハ數量ハ貨物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ鐵道大臣之ヲ定メ告示ス

第十條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨並ニ報告ヲ爲スベキ事項及報告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ出貨者ハ報告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ヲ託送セントスル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ報告シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ遲滞ナク其ノ變更シタル事項ヲ報告スベシ

第十二條 令第六條第二項ノ指定ハ鐵道局長之ヲ爲シ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第十三條 令第六條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シタル出貨者ハ令第二十七條ノ規定ニ依リ毎月十日迄ニ當該貨物ノ前月中ニ於ケル託送數量ヲ託送シタル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

(通十一) 一六〇

(通十一) 一六一

第十四條 工場事業場使用收用令施行規則第一條乃至第七條、第十一條及第十二條ノ規定ハ令第八條ノ規定ニ依ル陸上運送ノ施設ノ使用又ハ收用ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同令中主務大臣トアルハ鐵道大臣トス

第十五條 令第九條ノ規定ニ依ル物資又ハ設備ノ讓渡、讓受、貸渡又ハ借受ノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

- 一 讓渡又ハ貸借ノ當事者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 讓渡シ、讓受ケ、貸渡シ又ハ借受クベキ物資又ハ設備ノ表示及物資ニ在リテハ數量、設備ニ在リテハ所在ノ場所
- 三 讓渡又ハ貸借ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 四 讓渡シ、讓受ケ、貸渡シ又ハ借受クベキ物資又ハ設備ノ引渡ノ期限
- 五 貸借ノ場合ニ在リテハ貸借ノ期間
- 六 其ノ他必要ト認ムル事項

第十六條 令第十條第二項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ當事者連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ前條ノ令書ノ送達ニ當リ經由シタル官廳ヲ經由シ鐵道大臣ニ提出スベシ

- 一 讓渡又ハ貸借ニ關スル契約書ノ謄本
- 二 讓渡價格又ハ貸借料ノ算定説明書

第八條關係

三 令第十七條第一項ノ規定ニ依ル供託ノ命令アリタル場合ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル協定書ノ寫

第十七條 令第十條第一項ノ規定ニ依ル裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル申請書ノ正本ニ副本一通ヲ添ヘ之ヲ鐵道大臣ニ提出スベシ

一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二 申請ノ目的及事由

鐵道大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期限迄ニ答辯書ヲ差出サシム

前項ノ期限迄ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得
鐵道大臣裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者ニ送達ス

第十八條 令第十一條ノ規定ニ依リ輸送用物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一 鐵道車輛

二 貨物自動車但シ鐵道大臣ノ告示シタルモノニ限ル

三 前各號ノ物資以外ノモノニシテ鐵道大臣特ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第十九條 令第十一條ノ規定ニ依リ地方鐵道事業者又ハ專用鐵道ノ設備ヲ有スル者鐵道車輛ヲ讓渡シ、貨渡シ又ハ廢止セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル認可申請書ヲ鐵道大臣ニ提出シ其

(追十二) 一六二

(追十二) 一六三

ノ認可ヲ受クベシ但シ二月以内ノ貨渡ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 讓渡シ、貨渡シ又ハ廢止セントスル鐵道車輛ノ種類及形式

二 讓渡又ハ貨渡ノ場合ニ在リテハ其ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三 讓渡、貨渡又ハ廢止ノ事由及廢止ノ場合ニ在リテハ廢止後ノ處分

第二十條 貨物自動車ヲ所有スル者第十八條第二號ノ貨物自動車ヲ讓渡シ、貨渡シ又ハ廢棄セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル認可申請書ヲ主タル事務所(主タル事務所ナキトキハ住所)ノ所在地ヲ管轄スル警察署長ヲ經由シ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監トス)ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ但シ自動車ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル者ノ販賣ノ爲ニスル讓渡及二月以内ノ貨渡ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 讓渡シ、貨渡シ又ハ廢棄セントスル自動車ノ車名、形式(形狀)、年式(製作年)、車輛番號、原動機ノ種類及物品最大積載量

二 讓渡又ハ貨渡ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三 讓渡、貨渡又ハ廢棄ノ事由

第二十一條 令第十一條ノ規定ニ依リ第十八條第三號ノ規定ニ依リ告示アリタル物資ヲ所有スル者當該物資ヲ讓渡セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル認可申請書ヲ鐵道大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ但シ當該物資ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル者ノ販賣ノ爲ニスル讓渡ニ付テハ此ノ限

ニ在ラズ

- 一 讓渡セントスル物資ノ名稱並ニ種類及數量
- 二 讓渡ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所
- 三 讓渡ノ事由

第二十二條 令第十二條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ制限又ハ禁止ノ命令ハ左ノ事項ヲ告示シ又ハ之ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

- 一 制限シ又ハ禁止スベキ設備ノ表示
- 二 制限又ハ禁止ノ範圍
- 三 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ命令アリタルトキハ制限又ハ禁止ノ範圍ニ於ケル當該設備ニ關スル工事ニ著手スルコトヲ得ズ既ニ工事ニ著手セルトキハ之ヲ中止シ其ノ進捗狀況ヲ遲滞ナク鐵道大臣ニ届出ツベシ但シ工事ノ中止ニ因リ危險ヲ生ズベキ虞アルトキハ之ヲ防止スルニ必要ナル限度ニ於テ工事ノ遂行ヲ妨ゲズ

前項ノ届出アリタル場合鐵道大臣必要アリト認ムルトキハ適當ナル限度ニ於テ工事ヲ遂行セシムルコトヲ得

第二十三條 令第十三條第一項ノ規定ニ依ル事業開始ノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ

(追十二) 一六四

(追十一) 一六五

之ヲ爲ス

- 一 開始スベキ事業ノ種類及範圍
- 二 事業開始ニ必要ナル設備ノ工事方法ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 三 事業ヲ開始スベキ期限
- 四 其ノ他必要ト認ムル事項

令第十三條第二項ノ規定ニ依リ會社ノ目的ノ變更ヲ命ゼントスルトキハ前項ノ令書ニ會社ノ目的ヲ變更スベキ旨ヲ記載スベシ

第二十四條 前條ノ令書ヲ受ケタル者ハ事業開始ニ必要ナル設備ノ工事方法ニ付鐵道大臣ノ指定スル期限迄ニ之ガ認可ヲ申請スベシ

第二十五條 前條ノ規定ニ依ル認可申請書ハ地方鐵道法施行規則第十一條乃至第十四條ノ規定ニ依ル書類及圖面(既ニ提出シタルモノアルトキハ變更スル部分ヲ記載シタル書類及圖面)ヲ添附シ之ヲ所管地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ提出スベシ

第二十六條 令第十三條第一項ノ規定ニ依リ事業ノ開始ヲ命ゼラレタル者ハ地方鐵道法第十二條、第十三條及第四十五條ノ免許、認可又ハ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十七條 令第十三條第一項ノ規定ニ依ル專用鐵道ノ設備ヲ有スル者ニ對スル其ノ設備ヲ共用スベキコトノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第八條關係

五九

- 一 共用スベキ設備ノ表示
- 二 共用スベキ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所
- 三 共用ノ條件ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 四 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ令書ヲ受ケタル者ハ共用ノ條件ニ付相手方ト協議ヲ爲シ鐵道大臣ノ指定スル期限迄ニ之ガ認可ヲ申請スベシ

第二十八條 令第十四條ノ規定ニ依ル事業ノ委託、受託、讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ノ命令ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第二十九條 事業ノ委託又ハ受託ノ令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 委託ノ當事者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 委託シ又ハ受託スベキ事業ノ範圍
- 三 委託又ハ受託ノ方法
- 四 委託ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 五 委託又ハ受託ノ期間
- 六 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十條 事業ノ讓渡若ハ讓受ノ令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 讓渡ノ當事者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 讓渡シ又ハ讓受クベキ事業ノ範圍
- 三 讓渡ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 四 讓渡又ハ讓受ノ期限
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十一條 會社合併ノ令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 合併ノ當事者ノ名稱及住所
- 二 合併ノ方法
- 三 合併ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 四 合併ノ期限
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十二條 令第十五條第二項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ當事者連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ第二十八條ノ令書ノ送達ニ當リ經由シタル官廳ヲ經由シ鐵道大臣ニ提出スベシ

- 一 委託、讓渡又ハ合併ニ關スル契約書ノ謄本
- 二 委託料、讓渡價格又ハ合併比率ノ算定説明書
- 三 委託又ハ讓渡ノ場合ニ在リテハ之ニ關シ公共團體ノ議會、株主總會、社員總會、無限責任

社員、總社員又ハ組合員ノ決議又ハ同意ヲ要スルトキハ其ノ議事及決議ノ要領書又ハ同意書ノ謄本、合併ノ場合ニ在リテハ株主總會、社員總會、無限責任社員又ハ總社員ノ議事及決議ノ要領書又ハ同意書ノ謄本

四 令第十七條第一項ノ規定ニ依ル供託ノ命令アリタル場合ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル協定書ノ寫

第三十三條 第十七條ノ規定ハ令第十五條第一項ノ規定ニ依ル裁定ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 令第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ノ受託若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ爲シタルトキハ受託人、讓受人又ハ會社ハ遲滞ナク其ノ期日ヲ鐵道大臣ニ届出ツベシ

第三十五條 令第十七條(令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ擔保トシテ供託スベキモノハ國債又ハ國債以外ノ有價證券ニシテ讓受人ノ同意シタルモノトス

第三十六條 令第十七條(令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ供託スベキ有價證券ノ數量及擔保價格ハ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ鐵道大臣之ヲ裁定ス

第十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル裁定ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 令第十七條(令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ擔保ヲ供託シタル者ハ該財團ヲ擔保トスル債務ノ額ガ減少シタル場合及讓受ケタル物資、設備其ノ他ノモノガ抵

(通十二) 一六八

(通十二) 一六九

當權者ノ同意ヲ得テ當該財團ヨリ分離セラレタル場合ハ供託物ノ一部ノ取戻ヲ爲スコトヲ得前條ノ規定ハ取戻シ得ベキ有價證券ニ付之ヲ準用ス

第三十八條 令第十八條(令第十九條第三項及令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ債務ヲ承繼セシメントスルトキハ鐵道大臣ハ當該債務ノ種類及名稱並ニ承繼ノ期日ヲ官報ニ公告スベシ此ノ場合ニ於テハ鐵道大臣ハ讓渡人及讓受人ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第三十九條 前條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル讓渡人及讓受人ハ債務ノ承繼期日迄ニ擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社、其ノ他ノ債務ニ在リテハ債權者ト債務ノ承繼ニ關シ必要ナル事項ニ付協定ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ擔保附社債ノ債務ヲ承繼シタルトキハ讓渡人、讓受人及受託會社ハ前條ノ承繼ノ期日ニ債務ノ承繼アリタル旨ヲ遲滞ナク公告スベシ但シ知レタル社債權者及擔保附社債信託法第二十九條第一項ノ規定ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニハ各別ニ之ヲ通知スベシ

第四十條 令第十八條(令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ債務ノ全部ノ承繼アリタル場合ニ於テハ當該債務ヲ擔保セル抵當權ハ從前ト同一ノ態様ニ於テ承繼アリタル債務ヲ擔保スルモノトシ債務ノ一部ノ承繼アリタル場合ニ於テハ當該債務ヲ擔保セル抵當權ハ從前ト同一ノ態様ニ於テ承繼アリタル債務ヲモ擔保スルモノトス

第四十一條 令第十八條(令第十九條第三項及令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依

リ株式會社ニ非ザル者ガ社債ノ債務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ當該債務ニ付テハ社債ニ關スル法令ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ從前ノ社債券ハ當該承繼人ニ對スル當該債權ヲ表示スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ擔保附社債信託法ニ依ル從前ノ社債ノ委託會社ハ從前ノ社債原簿又ハ其ノ謄本ニ就キ承繼アリタル債務ニ關スル債權者原簿ヲ作成シ之ヲ承繼人ニ交付スルコトヲ要ス
第一項ノ場合ニ於テハ當該抵當權ニ關シ承繼人ト從前ノ社債ノ受託會社トノ間ニ從前ト同一ノ態樣ニ於テ信託關係存續スルモノトス

第一項ノ證券及第二項ノ債權者原簿並ニ承繼債務ノ權利ノ實行ニ付テハ擔保附社債信託法ヲ準用ス

第四十二條 第十七條ノ規定ハ令第十八條第二項（令第十九條第三項及令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル裁定ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 令第十九條第一項ノ規定ニ依リ鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ承繼シタルトキハ讓渡人及讓受人ハ抵當權者ニ對シ其ノ旨及承繼ノ日ヲ通知スベシ

第四十四條 令第十九條第一項ノ規定ニ依リ鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ承繼シタル者ガ株式會社ニ非ザルトキハ當該財團及之ヲ目的トスル抵當權ニ付テハ鐵道抵當法、明治四十二年法律第二十八號又ハ自動車交通事業法第六章ノ規定ヲ準用ス

（追十一） 一七〇

（追十一） 一七一

第四十五條 令第二十二條ノ規定ニ依ル事業ノ廢止又ハ休止ノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

- 一 廢止シ又ハ休止スベキ事業ノ範圍
- 二 廢止ノ期限又ハ休止ノ期限若ハ期間
- 三 其ノ他必要ト認ムル事項

第四十六條 令第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ノ廢止又ハ休止ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ期日ヲ鐵道大臣ニ届出ヅベシ

第四十七條 令第二十三條ノ規定ニ依ル設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、共同作業、運賃又ハ料金其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定又ハ變更ハ陸上運送事業者ヲ指定シ又ハ地域及業種ヲ指定シテ之ヲ命ジ其ノ取消ハ取消スベキ期限ヲ指定シテ之ヲ命ズ

第四十八條 陸上運送事業者令第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ統制協定ヲ設定シ又ハ變更シタルトキハ左ノ事項ヲ遲滞ナク鐵道大臣ニ届出ヅベシ

- 一 設定シ又ハ變更シタル協定ノ内容
- 二 設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日
- 三 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第四十九條 令第二十四條ノ規定ニ依リ公告期間ヲ一週間トス但シ緊急ノ必要アル場合ニシテ鐵

道大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ認可ヲ受ケタル期間トス

第五十條 令第七條第三項ニ於テ準用スル工場事業場管理令第十一條ノ規定ニ依ル施設ノ管理ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ管理廢止ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ鐵道大臣ニ提出スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ每事業年度ノ終リタル後又ハ損失ヲ生ジタル都度三月以内ニ提出スルコトヲ得

第五十一條 前條ノ損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 損失補償請求ニ係ル施設ノ名稱及所在ノ場所
- 二 管理開始ノ時期及管理ノ期間又ハ請求ノ基礎トナリタル期間
- 三 補償請求ノ事由
- 四 補償請求額
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第五十二條 令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第二十四條ノ規定ニ依ル施設ノ使用若ハ收用ノ處分又ハ從業者ノ供用ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ收用ノ場合ニ在リテハ收用(令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第八條ノ規定ニ依リ收用セザルコトノ決定アリタルトキハ其ノ決定)ノ後一年以内ニ、使用ノ場合ニ在リテハ使用期間満了又ハ使用廢止(令第八條第三項ニ於テ準用スル同令同條ノ規定ニ依リ使用セザルコトノ決

(追十二) 一七二

(追十二) 一七三

定アリタルトキハ其ノ決定)ノ後、從業者ノ供用ノ場合ニ在リテハ供用ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ鐵道大臣ニ提出スベシ

使用ノ場合ニ於テ使用ノ期間六月分ヲ超ユルモノナルトキハ每事業年度ノ終リタル後三月以内ニ損失補償請求書ヲ提出スルコトヲ得

第五十三條 施設ノ使用又ハ收用ノ處分ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 使用又ハ收用ノ目的タル施設ノ表示
 - 二 使用ノ場合ニ在リテハ令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第八條ノ規定ニ依ル使用セザルコトノ決定ノ時期又ハ使用開始ノ時期、使用ノ期間及請求ノ基礎ト爲リタル期間、收用ノ場合ニ在リテハ令第八條第三項ニ於テ準用スル同令同條ノ規定ニ依ル收用セザルコトノ決定ノ時期又ハ收用ノ時期
 - 三 補償請求ノ事由
 - 四 補償請求額
 - 五 其ノ他必要ト認ムル事項
- 從業者ノ供用ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 供用ノ時期及供用ノ期間アルトキハ其ノ期間
 - 二 補償請求ノ事由

第八條關係

三 補償請求額

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第五十四條 令第二十六條第一項ノ規定ニ依ル事業ノ廢止又ハ休止ノ命令ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ廢止ノ場合ニ在リテハ廢止ノ後一年以内ニ、休止ノ場合ニ在リテハ休止期間滿了ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ鐵道大臣ニ提出スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ毎事業年度ノ終リタル後三月以内ニ提出スルコトヲ得

第五十五條 前條ノ損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 廢止又ハ休止ノ命令ニ係ル事業ノ表示
- 二 廢止ノ場合ニ在リテハ廢止ノ時期、休止ノ場合ニ在リテハ請求ノ基礎トナリタル期間
- 三 補償請求ノ事由
- 四 補償請求額
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ノ組成ニ係ル事業ノ廢止ノ場合ニ在リテハ前項第四號ノ補償請求額ハ財團ノ組成ニ係ル部分毎ニ又ハ財團ノ組成ニ係ル部分ト然ラザルモノトニ區分シテ之ヲ記載スベシ

第五十六條 第五十條、第五十二條及第五十四條ノ損失補償請求書ニハ損失補償額算定明細書ヲ

(追十二) 一七四

(追十二) 一七五

添附スベシ使用又ハ收用ノ場合ニ於テハ受領調書ノ交付又ハ其ノ謄本ノ送達ヲ受ケタル場合ナルトキハ其ノ寫ヲ添附スルコトヲ要ス

第五十七條 鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ヲ有スル者ハ令第二十六條第三項ノ規定ニ依リ當該財團ノ組成ニ係ル部分ニ付支拂ハルベキ損失補償金ニ對シテノミ其ノ權利ヲ行フコトヲ得但シ其ノ損失補償金ノ支拂前ニ之ヲ差押フルコトヲ要ス

鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ヲ有スル者令第二十六條第三項ノ規定ニ依リ當該事業廢止當時當該財團ニ屬シタルモノニ對シ其ノ權利ヲ行ハントスルトキハ當該事業廢止ノ日ヨリ三月以内ニ其ノ手續ヲ爲スベシ

第五十八條 令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第十條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受クルニ付携帶セシムベキ證票ハ別記第一號様式ニ依ル

令第二十七條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記第二號様式ニ依ル

第五十九條 令第二十七條第一項ニ定ムル鐵道大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外鐵道局長及地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)之ヲ行フコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十六年勅令第九百七十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八條關係

別記

第一號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表面)

(連十二) 一七六

(連十一) 一七七

陸運統制令第八條ノ規定ニ基ク證票

第八條關係

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名

鐵道省又ハ鐵道局印

七二

(通十一) 一七八

(通十一) 一七九

國家總動員法第十三條第一項 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

國家總動員法第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

四 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若ハ工作物ノ管理、使用若ハ收用又ハ從業者ノ供用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

陸運統制令第八條 鐵道大臣必要アリト認ムルトキハ陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

鐵道大臣ハ前項ノ規定ニ依リ陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スル場合ニ於テ其ノ從業者ヲ供用セシムルコトヲ得

工場事業場使用收用令第三條、第四條、第五條第一號乃至第五號、第七號、第六條乃至第十二條及第十八條乃至第二十八條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル施設ノ使用又ハ收用及前項ノ規定ニ依ル從業者ノ供用ニ之ヲ準用ス

工場事業場使用收用令第十條 主務大臣ハ當該官吏ヲシテ使用又ハ收用ノ目的タル工場事業場ノ引渡ヲ受ケシムルモノトス

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受ケシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

陸運統制令施行規則第五十八條第一項 令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第十條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受クルニ付携帯セシムベキ證票ハ別記第一號様式ニ依ル

第八條關係

七三

第二號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表面)

七四

(通十二) 一八〇

(通十二) 一八一

陸運統制令第二十七條ノ規定ニ依ル證票

第八條關係

七五

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名

鐵道省、鐵道局又ハ
廳府縣印

(追十二) 一八二

(追十二) 一八三

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

陸運統制令第二十七條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ陸上運送事業者、陸上運送ノ設備ヲ有スル者、陸上ニ於ケル輸送用物資ヲ使用若ハ所有スル者運送ノ申込ヲ爲ス者、旅客又ハ貨主ヨリ陸上運送ノ統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店舗、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

陸運統制令施行規則第五十八條第二項 令第二十七條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記第二號様式ニ依ル

第八條關係

陸運統制令第三條ノ規定ニ基ク貨物自動車運送事業者ノ
貨物運送ノ引受及順序竝ニ同令第四條ノ規定ニ基ク業務
ニ關シ貨物自動車ヲ使用スル者ノ其ノ使用ノ制限ニ關シ
左ノ通定メ昭和十六年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年八月鐵道省告示第百五十三號ハ昭和十六年十
二月十四日限之ヲ廢止ス
(昭和十六年十二月六日
鐵道省告示第百五十四號)

改正 昭和十七年六月十八日第百三十五號

- 一 貨物自動車運送事業者ハ左ノ貨物ノ運送ヲ引受クルコトヲ得ズ
 - イ 五十斤(生鮮食料品ニ付テハ百斤)ヲ超ユル運送ヲ要スル貨物
 - ロ 百貨店其ノ他ノ小賣業者ノ顧客ニ對シ配達スル貨物但シ石炭類(石炭、煉炭、コークス及
コーライト以下同ジ)及生産擴充用機械類ヲ除ク
 - ハ 庭石、庭園用石燈籠、大理石、模造石
 - ニ 植木、盆栽、鉢植、花輪
 - ホ 寫真機類、樂器類、娛樂用品

(追十二) 一八四

(追十二) 一八五

- ヘ 美術品、骨董品、額縁
- ト 其ノ他地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ノ指定スルモノ
- 二 貨物自動車運送事業者ハ左ノ順序ニ依リ貨物ノ運送ヲ爲スベシ
 - イ 軍需品、軍關係資材
 - ロ 天災事變ニ因リ緊急運送ヲ要スル物資
 - ハ 米穀類、生鮮食料品、木炭
 - ニ 鑛石、鐵屑、石炭類、石油類(揮發油、燈油、輕油、機械油及重油)、坑木、枕木
 - ホ 鐵道、軌道又ハ船舶ニ依リ驛又ハ港灣ニ到著セル貨物
 - ヘ 肥料、飼料、動植物油脂類
 - ト ハ以外ノ國民生活ニ缺クベカラザル物資
 - チ 其ノ他
- 三 貨物自動車運送事業者ニ非ズシテ業務ニ關シ貨物自動車ヲ使用スル者ハ昭和十六年十二月十
五日ヨリ當分ノ間第一號ニ掲グル貨物ヲ運送スル爲貨物自動車ヲ使用スルコトヲ得ズ
- 四 特別ノ事由ニ因リ所管地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキハ前各號ニ依ラザルコトヲ得
- 五 貨物自動車運送事業組合ニ於テ運送ノ引受ヲ爲ス貨物ニ付當該組合ニ於テ其ノ運送ニ關シ前

號ノ承認ヲ受ケタルトキハ之ガ運送ヲ爲ス貨物自動車運送事業者ハ當該運送ニ關シ別ニ承認ヲ受クルコトヲ要セズ

(追十二) 一八六

(追十二) 一八七

陸運統制令ニ基ク登記ノ手續ニ關スル件

(昭和十六年十二月二十六日
司法省令 第百號)

第一條 陸運統制令(以下令ト稱ス)第九條ノ規定ニ基キ登記シタル不動産ニ關スル權利ノ讓渡アリタルトキハ當事者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第二條 工場財團ニ屬スルモノノ一部ノ讓渡アリタルニ因リ前條ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ登記原因ヲ證スル書面ノ外讓受人ノ氏名、住所及讓渡セラレタル物件ヲ表示シタル工場財團目錄ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ノ記載事項中工場抵當法第二十一條第一號乃至第三號ニ掲グル事項ハ之ヲ讓渡人ニ屬スルモノト讓受人ニ屬スルモノトニ區分シテ記載スルコトヲ要ス
第三條 前條第一項ノ申請ニ依ル登記ヲ爲スニハ登記用紙中表示欄ニ工場抵當法第二十一條第一號乃至第三號ニ掲グル事項ヲ讓渡人ニ屬スルモノト讓受人ニ屬スルモノトニ區分シテ表示シ且甲區事項欄ニ移轉ノ事實ヲ記載シ前ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記官吏ハ前條第一項ノ目錄ニ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ之ヲ從前ノ工場財團目錄ニ編綴シテ其ノ綴目ニ契印シ從前ノ目錄中讓渡セラレタルモノノ表示ノ側

第八條關係

ニ令第九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ讓渡アリタル旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ其ノ表示ヲ朱抹スベシ

前項ノ登記アリタルトキハ前條第一項ノ工場財團目錄ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第四條 前二條ノ規定ハ令第九條ノ規定ニ基キ鑛業財團ニ屬スルモノノ一部ノ讓渡アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第二條及第三條ノ規定ハ令第九條又ハ令第十四條ノ規定ニ基キ自動車交通事業財團ニ屬スルモノノ一部ノ讓渡アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第六條 令第十八條(令第十九條第三項及第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ讓受人ガ讓渡人ノ社債ノ元利支拂義務ヲ承繼シタルトキハ擔保附社債信託法第三十四條第一項ノ規定ニ準ジ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ申請書ニハ社債承繼ノ旨ヲ記載シ且非訟事件手續法第九十一條第二項第二號乃至第六號ニ掲グル書類ニ代ヘ社債承繼ヲ證スル書面及讓渡ヲ爲シタル會社ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(通十二) 一八九

(通十二) 一八九

陸運統制令中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關ス

ル件左ノ通定ム

(昭和十七年三月二十八日) 鐵道省 令 第一號

第一條 陸運統制令(以下令ト稱ス)第九條乃至第十五條、第十七條(第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)、第十八條(第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)、

第二十二條、第二十三條、第二十七條及第二十八條中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 陸運統制令施行規則第十五條乃至第十七條、第十八條第一號第三號、第十九條、第二十一條乃至第二十六條、第二十八條乃至第四十二條及第四十五條乃至第四十八條ノ規定ハ軌道事業ニ之ヲ準用ス但シ同規則中鐵道大臣トアルハ鐵道大臣及內務大臣トシ同規則第二十五條中地方鐵道法施行規則第十一條乃至第十四條トアルハ軌道法施行規則第八條及第九條並ニ軌道法施行規則第二十七條ニ於テ準用スル地方鐵道法施行規則第十三條トシ同規則第二十六條中地方鐵道法第十二條、第十三條及第四十五條ノ免許、認可又ハ許可トアルハ軌道法第三條及第五條第一項ノ特許又ハ認可トス

第三條 內務大臣ガ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テ令第二十七條第二項ノ規定ニ依リ携帶セシムベキ證票ハ別記様式ニ依ル

第八條關係

第四條 令第二十七條第一項ニ定ムル鐵道大臣及内務大臣ノ職權ハ地方長官之ヲ行フコトヲ得
附則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折トス)

(表面)

(通十一) 一九〇

(通十一) 一九一

陸運統制令第二十七條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官	内務省印
職	
氏	
名	

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ

(道十一) 一九二

(道十一) 一九三

報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

陸運統制令第二十七條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ陸上運送事業者、陸上運送ノ設備ヲ有スル者、陸上ニ於ケル輸送用物資ヲ使用若ハ所有スル者、運送ノ申込ヲ爲ス者、旅客又ハ貨主ヨリ陸上運送ノ統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店舗、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

同令第二十九條 第九條乃至第十五條、第十七條、第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム、第十八條、第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム、第二十二條、第二十三條、第二十七條及前條中鐵道大臣トアルハ軌道事業ニ關シテハ鐵道大臣及内務大臣トス

昭和十七年^{鐵道省令}第一號第三條 内務大臣ガ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テ令第二十七條第二項ノ規定ニ依リ携帯セシムベキ證票ハ別記様式ニ依ル

第八條關係

八七

八六

陸運統制令第二十七條ノ規定ニ依リ小運送業者、貨物自動車運送事業者及業務ニ關シ貨物自動車ヲ使用スル者ノ爲ス運送ノ輸送噸數報告方左ノ通定メ昭和十七年五月六日ニ報告スベキ分ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年三月鐵道省告示第六十一號ハ昭和十七年四月

三十日限之ヲ廢止ス (昭和十七年四月二十八日鐵道省告示第九十三號)

- 一 小運送業者 貨物自動車運送事業者及業務ニ關シ貨物自動車ヲ使用スル者第三號ニ掲グル物資ヲ輸送シタル場合ハ鐵道、軌道又ハ省營自動車線ニ連絡スルモノニ付テハ品目別發著別輸送噸數ヲ國有鐵道ノ最寄驛長經由所管鐵道局長ニ、其ノ他ノモノニ付テハ品目別輸送噸數ヲ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同シ)ニ毎月一日、六日、十一日、十六日、二十一日及二十六日正午迄ニ其ノ五日前(三月一日ニ在リテハ三日又ハ四日前、一、二、四、六、八、九、十一月ノ各月一日ニ在リテハ六日前)ヨリ前日迄ノ分ヲ報告スベシ
- 二 鐵道局長及地方長官ハ前號ノ報告ヲ受ケタル日ノ翌日正午迄ニ道府縣毎ニ取纏メ鐵道省監督局長宛報告スベシ

(追十二) 一九四

(追十三) 二四一

三 報告スベキ物資ノ品名及其ノ略號ハ左ノ如シ

石	炭	セ	鐵	鑛	石	テ
屑	鐵	ク	米		コ	
肥	料	ヒ	大	豆	マ	

海運統制令

(昭和十五年二月一日) (總理、拓務、司、海軍、遞信大臣副署)

改正 昭和十六年九月三日第八百四十二號、昭和十六年十二月十九日第千五百五十二號、昭和十七年五月十五日第五百四號、昭和十八年三月三十一日第三百四十二號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第五條ノ規定ニ基ク海運關係事業ニ關スル試驗研究ニ關スル業務ニ付テノ協力命令、同法第八條ノ規定ニ基ク船舶、船體、船舶用機關、艙裝品、其ノ部分品若ハ附屬品(以下船舶等ト稱ス)ノ製造若ハ修繕又ハ海運關係事業ノ用ニ供スル物資ノ讓渡、使用、保有若ハ消費ニ關スル命令、同法第十六條ノ二ノ規定ニ基ク海運關係事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡、出資又ハ貸渡ニ關スル命令、同法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク海運關係事業ノ委託、共同經營、讓渡、廢止若ハ休止又ハ海運關係事業ヲ營ム會社ノ合併ニ關スル命令及同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價格若ハ修繕料、水上ノ運送賃、船舶ノ賃貸料若ハ運航手數料、船積若ハ陸揚ニ關スル請負料若ハ手數料又ハ船舶ノ賣買、船舶ノ賃借、船舶ノ運航委託若ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料(以下船舶ノ價格等ト稱ス)ニ關スル命令ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ海運關係事業トハ左ニ掲グル事業ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ謂フ

一 船舶ニ依ル人若ハ物ノ運送、船舶ノ賃渡又ハ其ノ運航ノ委託ヲ爲ス事業

(第十三) 二四二

(第十一) 一九七

二 船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業

三 船舶ノ運航、製造又ハ修繕ニ必要ナル多種類ノ物品ノ販賣ヲ爲ス事業

四 船舶ノ救助、引揚又ハ解撤ヲ爲ス事業

本令ニ於テ賃渡又ハ借受トハ船舶ニ付テハ期間備船ヲ含ムモノトシ船舶ノ賃貸料トハ期間備船料ヲ含ムモノトス

第三條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業ヲ營ム者(以下海運關係事業者ト稱ス)ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備若ハ權利又ハ其ノ事業ノ用ニ供スル物資ノ讓渡、讓受、賃渡又ハ借受ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラズ讓渡又ハ賃渡ヲ爲スコトヲ得

第四條 前條ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ賃渡ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル

前項ノ協議ハ遞信大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第一項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣之ヲ裁定ス

遞信大臣前項ノ裁定ヲ爲サントスルトキハ事案ノ重要ナルモノニ付テハ海事審議會ノ議ヲ經スベシ

第五條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業者ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ出資ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ遞信大臣ハ出資ノ相手方ニ對シ

第八條關係

必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三條第二項及前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ海運關係事業者ニ對シ其ノ事業ノ用ニ供スル物資ノ使用、消費若ハ保有ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費若ハ保有ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第七條 遞信大臣ハ海運關係事業者ニ對シ規格ヲ指定シテ船舶等ノ製造ヲ命ジ若ハ範圍ヲ指定シテ船舶等ノ修繕ヲ命ジ、指定シタル規格若ハ範圍以外ノ船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ船舶等ノ製造若ハ修繕ニ付順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲サントスル者及外國ニ船舶等ノ製造又ハ修繕ノ注文ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶等ノ製造又ハ修繕ニ付遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル者ハ

第九條 第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル讓渡、貸渡又ハ出資ノ命令ヲ受ケタル者ハ讓渡、貸渡又ハ出資ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外遞信大臣ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡、貸渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 第三條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備、權利若ハ物資ノ讓渡ヲ受ケタル者又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備若ハ權利ノ出資ヲ受ケタル者當該設備、權利又ハ物資ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受ケベシ

(追十二) 一九八

(追十二) 一九九

第十一條 事業ニ屬スル設備若ハ權利又ハ事業ノ用ニ供スル物資ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該設備權利又ハ物資ニ關シテハ第三條第一項、第五條第一項若ハ第六條前段ノ規定又ハ第七條中船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ命ズル規定ハ之ヲ適用セズ

第十二條 工場財團ニ屬スルモノハ第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

前項ノ場合ニ於ケル登記ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 遞信大臣ハ第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備、權利又ハ物資ヲ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ第十四條ノ規定ニ依リ債務ノ全部ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ガ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルベキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

第十四條 遞信大臣ハ第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ出資ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ當該設備權利又ハ物資ヲ擔保トスル債務ヲ引續キ負擔セシメ置クコトヲ適當ナラズト認ムルトキハ國家總動員法第十八條ノ二ノ規

定ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ヲシテ當該債務ノ全部又ハ一部ヲ承繼セシムルコトヲ得

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業者ニ對シ海運關係事業ノ全部若ハ一部ノ委託、受託、共同經營、讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ命ズルコトヲ得

第三條第二項、第四條及第九條乃至前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡又ハ讓受ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條第二項、第四條及第九條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ事業ノ委託、受託若ハ共同經營又ハ會社ノ合併ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第四條（第五條第二項、第十四條第二項及前條第二項第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ協議又ハ裁定ニ基キ會社ガ事業ノ讓渡、合併其ノ他當該協議又ハ裁定ニ於テ定メラレタル事項ノ實行ヲ爲サントスルニ付株主總會又ハ之ニ準ズベキモノノ決議、同意等ヲ必要トスル場合ニ於テ其ノ決議、同意等ヲ得ルコト能ハザルトキハ會社ハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ當該事項ノ實行ヲ爲スコトヲ得

第十七條 遞信大臣ハ海運關係事業者又ハ其ノ團體ヲシテ海運關係事業ニ關シ國又ハ遞信大臣ノ

指定スル者ノ行フ國家總動員上必要ナル試験研究ニ關スル業務ニ付協力セシムルコトヲ得

第十八條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業者ニ對シ其ノ事業ノ全部又ハ一部ノ廢止又ハ休止ヲ命ズルコトヲ得

第十九條 帝國臣民又ハ帝國法人日本船舶ニ非ザル船舶ヲ借受ケ若ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ又ハ日本船舶ニ非ザル船舶ニ依リ命令ヲ以テ定ムル物資ヲ運送セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二十條 遞信大臣ハ航路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶ヲ指定シテ航海ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ一般的ニ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ制限若ハ禁止スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲サルル別段ノ處分ノ效力ヲ妨ゲズ

第二十一條 遞信大臣ハ海上輸送ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷送人若ハ荷受人又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ノ方法、順位、期日、期間又ハ數量ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 遞信大臣ハ海運關係事業者、港灣運送業者若ハ海運仲立業者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ船舶ノ價格等ノ設定又ハ變更ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設定又ハ變更シタル價格等ニ付テハ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第六條、第七條又ハ第十八

條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ通常生ズベキ損失トス

損失補償請求ノ時期其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ海運關係事業者、港灣運送業者若ハ海運仲立業者又ハ此等ノ者ノ團體ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶、工場其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十五條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ海務局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ水上ノ運送貨ニ在リテハ知事及警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 遞信大臣本令ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令ガ工場事業場管理令ニ依リ政府ノ管理ニ係ル工場又ハ事業場ニ關スルモノナルトキハ當該工場又ハ事業場ヲ管理スル主務大臣ニ協議スベシ

遞信大臣第三條第一項、第五條第一項又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該事項ガ他ノ法令ニ基キ他ノ大臣ノ許可、認可、免許等ヲ要スルモノナルトキハ當該大臣ニ協議スベシ

(通十三) 二四三

第二十七條 第三條第一項、第四條第二項第三項、第六條、第七條、第九條、第十條、第十三條

第一項、第十四條第一項、第十六條、第二十四條第一項及前條中遞信大臣トアルハ昭和十七年勅令第六十八號第一條ノ規定ニ依リ海軍大臣ノ管理スル事項ニ付テハ海軍大臣トス

第二十八條 前條ノ場合ヲ除クノ外本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ海務局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

第四條第四項（第五條第二項、第十四條第二項及第十五條第二項第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ハ朝鮮、臺灣及南洋群島ニ在リテハ之ヲ適用セズ

第二十九條 朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第三條乃至第五條、第七條乃至第十條、第十五條、第十八條乃至第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ其ノ重要ナルモノニ付豫メ遞信大臣ニ協議スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十七年六月六日ヨリ之ヲ施行ス

従前ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ指定シ又ハ認可シタル額ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

第八條關係

海運統制令施行規則

(昭和十五年二月一日) 遞信省令第三號

改正

昭和十五年八月三十日第四十六號、昭和十五年十月一日第五十三號、昭和十六年

九月三日第八十號、昭和十七年五月十五日海軍省令第一號

遞信
司法

第一條 海運統制令(以下令ト稱ス)第二條第一項第一號ノ事業ハ左ニ掲グル事業トス

一 船舶(港灣運送業ノ用ニ供スル浮船及曳船ヲ除ク)ニ依ル人又ハ物ノ運送ヲ爲ス事業

二 前號ニ掲グル船舶ノ貸渡又ハ其ノ運航ノ委託ヲ爲ス事業

第二條 令第二條第一項第二號ノ事業ハ左ニ掲グル事業トス

一 船舶又ハ船體ノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業(當該事業ヲ營ム者ノ爲ス船舶用機關、艤裝品又

ハ此等ノ部分品若ハ附屬品ノ製造又ハ修繕ノ事業ヲ含ム)

二 船舶用機關、艤裝品又ハ此等ノ部分品若ハ附屬品ニシテ重要機械製造事業法ノ規定ニ依ル重要機械ニ非ザルモノノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業

第三條 令第二條第一項第三號ノ事業ハ左ニ掲グル事業トス

一 船體、船舶用機關若ハ艤裝品ノ部分品若ハ附屬品又ハ艤裝品ニ付多種類ノ物品ノ販賣ヲ爲ス事業

二 前號ノ事業ニ附隨シ又ハ專ラ船舶ニ供給スル目的ヲ以テ遞信大臣ノ告示ヲ以テ定ムル運航

(通十三)

二四四

(通十一)

二〇五

用物品ノ類ノ二類以上ニ付各多種類ノ物品ノ販賣ヲ爲ス事業

第四條 令第二條第一項第四號ノ事業ハ左ニ掲グル事業トス

一 遭難船舶ノ救助ヲ爲ス事業

二 沈没船舶ノ引揚ヲ爲ス事業

三 船舶ノ解撤ヲ爲ス事業

第五條 令第三條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ遞信大臣命令ヲ受クベキ者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ

記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

一 當事者ノ氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名トス以下同ジ)及住所

二 當該設備、權利又ハ物資ノ表示

三 讓渡又ハ貸渡ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條 令第四條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請

書ニ當事者連署ノ上之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 讓渡又ハ貸渡ニ關スル契約ノ内容

二 讓渡價格又ハ賃貸料ノ算出ノ基礎

三 協議ノ顛末

第八條關係

四 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第七條 令第四條第三項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請者及相手方ノ氏名及住所並ニ

申請ノ目的及事由ヲ記載シタル正副二通ノ申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

遞信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書

ヲ提出セシム

第五條第三號ノ期限後遲滯ナク第一項ノ申請書ノ提出ナキトキ又ハ前項ノ期間内ニ答辯書ノ提

出ナキトキト雖モ遞信大臣ハ裁定ヲ爲スコトヲ得

第八條 令第四條第三項ノ規定ニ依ル裁定ハ遞信大臣理由ヲ附シタル裁定書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ

謄本ヲ當事者雙方ニ送達ス

遞信大臣裁定ヲ爲シタルトキハ軍機保護上特ニ支障アル場合ヲ除クノ外官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公

示ス

第九條 令第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ遞信大臣命令ヲ受クベキ者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ

記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

一 當事者ノ氏名及住所

二 當該設備又ハ權利ノ表示

三 出資ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條乃至前條ノ規定ハ令第五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 令第六條又ハ令第七條ノ規定ニ依ル命令ハ遞信大臣命令ヲ受クベキ者ニ對シ其ノ氏名及

住所、命令スベキ事項其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

第十一條 海運關係事業者左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ讓渡又ハ出資セントスルトキハ遞信大

臣ノ許可ヲ受クベシ但シ讓渡又ハ出資ニ付令又ハ他ノ法令ニ依ル遞信大臣ノ命令又ハ許可アリ

タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 總噸數百噸以上ノ汽船

二 總噸數百五十噸以上ノ機帆船

三 前二號ニ掲グルモノノ外遞信大臣ノ告示ヲ以テ指定スル船舶

第十二條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出

スベシ

一 當事者ノ氏名及住所

二 船舶ノ番號、種類、用途、名稱及總噸數

三 讓渡ノ價格又ハ出資ノ評價額

四 讓渡又ハ出資ヲ必要トスル事由

第八條關係

第十三條 長サ十五米以上ノ船舶ノ製造ヲ爲サントスル者ハ注文者ト連署ノ上左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

- 一 船舶ノ種類及用途
 - 二 船舶ノ長サ
 - 三 機關ノ種類及其ノ數
 - 四 船體製造工場名及使用船臺番號
 - 五 龍骨据附、進水及竣工ノ豫定期日
 - 六 機關ノ製造工場名並ニ工事著手及竣工豫定期日
 - 七 豫定製造價格及其ノ内譯
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ
- 一 製造番號、計畫總噸數、計畫重量噸數、計畫旅客定員、計畫馬力、計畫航海速度及使用豫定燃料ノ種類
 - 二 所要資材ノ種類別數量
 - 三 注文者ノ所要資金調達方法
 - 四 注文者ノ資産及營業狀況
- 外地又ハ外國ニ住所ヲ有スル者ノ注文ニ依ルモノニ付テハ第一項ノ申請書ニハ注文者ノ連署ニ

(連十一) 二〇八

代ヘ其ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

第十四條 長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲サントスル者ハ注文者ト連署ノ上左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

- 一 船舶ノ番號、種類、用途、名稱及總噸數
 - 二 船舶所有者ノ氏名及住所
 - 三 修繕ヲ行フ造船所又ハ工場ノ名稱及所在地
 - 四 修繕ニ用フベキ船架又ハ船渠ノ番號
 - 五 修繕範圍ノ概略
 - 六 工事著手及完了豫定期日
 - 七 豫定修繕料及其ノ内譯
 - 八 修繕ヲ必要トスル事由
- 前條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第十五條 船舶用機關ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ製造ヲ爲サントスル者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ但シ當該機關ヲ備附クベキ船舶ニ付第十三條第一項ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 往復動汽機 汽筒ノ徑ノ和ガ五百耗以上ノモノ

第八條關係

(連十一) 二〇九

二 「タービン」汽機 三百軸馬力以上ノモノ
 三 發動機 汽筒ノ徑ノ和ガ二百五十耗以上ノモノ
 四 汽罐 受熱面積ガ二十平方米以上ノモノ
 前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ注文者ト連署ノ上左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

- 一 機關ノ種類及其ノ數
- 二 備附クベキ船舶アル場合ニ於テハ其ノ番號及名稱
- 三 製造工場ノ名稱及所在地
- 四 工場著手及竣工豫定期日
- 五 豫定製造價格及其ノ内譯
- 六 製造ヲ必要トスル事由

第十三條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 外國ニ船舶、船體又ハ船舶用機關ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者ハ第十三條第一項各號又ハ前條第二項各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ
 第十三條第二項ノ規定ハ前項ノ船舶又ハ船體ノ製造ノ注文ノ許可ノ申請ニ付之ヲ準用ス
 第十七條 第十三條乃至前條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ許可ヲ受ケタル後當該船舶等ノ製造又ハ修

(連十一) 一一〇

(連十一) 一一一

繕ノ完了前ニ第十三條乃至前條ノ申請書ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第十八條 令第七條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲ストキハ第十三條乃至前條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第十九條 令第九條又ハ令第十條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

- 一 當該設備、權利又ハ物資ノ表示
- 二 當該設備、權利又ハ物資ニ關シ讓渡、貸渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスル事由
- 三 前號ニ掲グル處分ノ時期及内容
- 四 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第二十條 令第十條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベキ期間ハ當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル日ヨリ十年トス但シ遞信大臣當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ニ對シ別段ノ期間ヲ指定シタル場合ニ於テハ其ノ指定シタル期間トス

第二十一條 令第十三條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ遞信大臣設備、權利又ハ物資ヲ讓渡又ハ出資シタル者ニ對シ當事者ノ氏名及住所、第二十三條ノ協議ヲ爲スベキ期限其ノ他必要ト認ムル事項ヲ記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

第二十二條 令第十三條第一項ノ規定ニ依リ擔保トシテ供託スベキモノハ國債又ハ國債以外ノ有價證券ニシテ當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ノ同意シタルモノトス

第二十三條 令第十三條第一項ノ規定ニ依リ供託スベキ有價證券ノ數量及擔保價格ニ付テハ當事者間ニ於テ協議スベシ

前項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ逓信大臣之ヲ裁定ス

第七條及第八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前條ノ規定ニ依ル協議調ヒタルトキ又ハ裁定アリタルトキハ當該設備、權利又ハ物資ヲ讓渡又ハ出資シタル者ハ遲滯ナク供託ヲ爲シ供託物受人ノ記載アル供託書ノ寫ヲ當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ニ交付スベシ

第二十五條 令第十三條第一項ノ規定ニ依リ擔保ヲ供託シタル者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ供託物ノ一部ノ取戻ヲ爲スコトヲ得

一 當該設備、權利若ハ物資ノ屬スル工場財團又ハ工場財團ニ屬セザル當該設備、權利若ハ物資ヲ擔保トスル債務ノ額ガ減少シタルトキ

二 當該設備、權利又ハ物資ノ一部ガ擔保權者ノ同意ヲ得テ工場財團又ハ其ノ他ノ擔保物件ヨリ分離セラレタルトキ

前項ノ規定ニ依リ供託物ノ取戻ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ニ通知スベシ

(連十一) 一一一一

第二十三條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 令第十四條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ逓信大臣當事者雙方ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

一 當事者ノ氏名及住所

二 承繼セシムベキ債務ノ表示

三 承繼ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限

四 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ命令ニ依リ社債ヲ承繼セシムベキ場合ハ承繼人ガ株式會社又ハ株式合資會社ナルトキニ限ル逓信大臣社債ニ付第一項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社ニ通知シ其ノ他ノ債務ニ付第一項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ債權者ニ通知ス

第六條乃至第八條ノ規定ハ第一項ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 令第十四條第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テハ債權者(擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社)ハ當該命令ヲ受ケタル者ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十八條 逓信大臣令第十四條第二項ニ於テ準用スル令第四條第三項ノ裁定ヲ爲サントスルト

(連十一) 一一一三

キハ前條ノ規定ニ依リ意見ヲ述ベタル者ニ對シ期間ヲ指定シテ意見書提出ノ機會ヲ與フ

第二十九條 令第十四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ社債ヲ承繼シタルトキハ承繼人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公告シ且知レタル社債權者(擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社)及社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ各別ニ之ヲ通知シ其ノ他ノ債務ヲ承繼シタルトキハ承繼人ハ遲滯ナク債權者ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第三十條 令第十四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ債務ノ承繼アリタルトキハ被承繼者ハ當該債務ニ關スル信託證書其ノ他ノ契約證書及社債原簿ノ原本又ハ謄本其ノ他必要ナル書類ヲ承繼者ニ引渡スベシ

第三十一條 令第十五條第一項ノ規定ニ依ル事業ノ委託、受託、共同經營、讓渡又ハ讓受ノ命令ハ遞信大臣命令ヲ受クベキ者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

- 一 當事者ノ氏名及住所
- 二 委託、共同經營又ハ讓渡ノ目的タル事業ノ範圍
- 三 委託、共同經營又ハ讓渡ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限
- 四 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十二條 令第十五條第一項ノ規定ニ依ル會社ノ合併ノ命令ハ遞信大臣命令ヲ受クベキ者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス

(通十一) 二二四

(通十一) 二二五

- 一 當事者ノ氏名及住所
 - 二 合併ノ方法
 - 三 合併ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限
 - 四 其ノ他必要ト認ムル事項
- 第三十三條 第六條乃至第八條及第十九條乃至第三十條ノ規定ハ令第十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第六條乃至第八條及第十九條ノ規定ハ令第十五條第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第三十四條 令第十六條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ
- 一 協議又ハ裁定ノ内容
 - 二 株主總會又ハ之ニ準ズベキモノノ決議、同意等ヲ得ルコト能ハザル事情
- 前項ノ申請書ニハ株主總會ノ議事録又ハ之ニ準ズベキモノヲ添附スベシ
- 第三十五條 令第十八條ノ規定ニ依ル命令ハ遞信大臣命令ヲ受クベキ者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル令書ヲ送達シテ之ヲ爲ス
- 一 廢止又ハ休止ヲ爲スベキ者ノ氏名及住所
 - 二 廢止又ハ休止ノ目的タル事業ノ範圍

三 廢止ノ時期又ハ休止ノ期間
四 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十六條 令第十八條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ事業ノ廢止又ハ休止ヲ爲シタル者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ツベシ

第三十七條 令第十九條ニ掲グル者日本船舶ニ非ザル船舶ニシテ第十一條第一號又ハ第二號ニ掲グルモノヲ借受ケ(期間備船ヲ含ム以下同ジ)又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル正副二通ノ申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

一 船舶ノ種類、用途、名稱、國籍及貸主又ハ委託者ノ氏名及住所

二 船舶ノ總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及進水年

三 借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスル期間

四 借受ケントスル場合ニ於テハ賃貸料(期間備船料ヲ含ム以下同ジ)及其ノ支拂方法、委託ヲ受ケントスル場合ニ於テハ運航手數料又ハ費用ノ分擔及收益ノ分配ノ方法

五 豫定ノ航路又ハ就航區域

第三十八條 令第十九條ノ物資ノ種類及數量ハ遞信大臣告示ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 令第十九條ニ掲グル者日本船舶ニ非ザル船舶ニ依リ前條ノ物資ヲ運送セシメントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル正副二通ノ申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

(通十二) 二二六

(通十二) 二二七

一 運送セシムベキ船舶ノ名稱 國籍及總噸數

二 物資名及數量

三 運送豫定期間

四 支拂運賃率

五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ前條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

一 帝國臣民又ハ帝國法人ノ借受ケ又ハ運航ノ委託ヲ受ケタル船舶ニ依ル物資ノ運送

二 外國相互間ニ於ケル物資ノ運送(遞信大臣ノ告示ヲ以テ定ムルモノヲ除ク)

第四十一條 令第二十二條第二項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ其ノ氏名又ハ團體ノ名稱及遞信大臣ノ命令ニ基キ設定又ハ變更シタル船舶ノ價格等ノ額ヲ記載シタル申請書ニ當該額ノ算定基礎ヲ明カニスル書類ヲ添附シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第四十二條 遞信大臣令第二十二條第二項ノ認可ヲ爲シタルトキハ認可ヲ受ケタル者ノ氏名又ハ團體ノ名稱、認可シタル船舶ノ價格等ノ額及認可ニ附シタル制限又ハ條件其ノ他必要ナル事項ヲ告示ス

第四十三條 令第二十三條ノ規定ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ令第六條又ハ令第七條ノ規定ニ依ル命令アリタルトキハ損失ノ原因タル事實發生ノ日ヨリ六月以内ニ、令第十八條ノ

規定ニ依ル命令アリタルトキハ廢止ノ場合ニ在リテハ廢止ノ後一年以内ニ、休止ノ場合ニ在リテハ休止期間滿了ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ
特別ノ事由アル場合ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ト異ナリタル時期ニ損失補償請求書ヲ提出スルコトヲ得

第四十四條 損失補償請求書ニハ補償請求ノ事由、損失補償ノ請求額其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ記載スベシ

前項ノ損失補償請求書ニハ損失補償請求額ノ算出ノ基礎ヲ明カニスル書類ヲ添附スベシ
前項ノ書類ノ外遞信大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ求ムルコトアルベシ

第四十五條 令第二條第一項第二號ノ事業ヲ營ム者ハ長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲シ得ル船渠及船架ノ翌月中ノ使用豫定ニ付第一號様式ニ依ル報告書二通ヲ毎月十五日迄ニ、長サ五十米以上ノ船舶ノ前月ノ修繕狀況ニ付第二號様式ニ依ル報告書二通ヲ毎月七日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第四十六條 令第二十四條第二項ノ證票ハ第三號様式ニ依ル

第四十七條 令第二十一條及第二十四條第一項ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ海務局長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十八條 本令ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ提出スベキ書類ハ第六條(第九條第二項、第二十六條

(道十二) 二一九

(道十二) 二一九

第四項及第三十三條第一項第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、第七條(第九條第二項、第二十三條第三項、第二十五條第三項、第二十六條第四項及第三十三條第一項第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、第十九條(第三十三條第一項第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、第二十八條(第三十三條第一項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、第三十四條、第三十六條、第三十七條、第三十九條及第四十三條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外所轄海務局長ヲ經由スベシ

第四十九條 令及本令ニ於テ遞信大臣トアルハ左ニ掲グル事項ニ付テハ遞信大臣ノ特ニ告示ヲ以テ指定スルモノヲ除クノ外所轄海務局長トス但シ專ラ湖川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未満ノ船舶(舢舨、曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク)ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料、運送賃並ニ賣買、貸借又ハ運航委託ノ斡旋手數料並ニ總噸數五噸未満ノ船舶ノ製造價格及修繕料ニ付テハ地方長官(東京府ニ於テハ運送賃ニ付テハ知事及警視總監)トス

一 總噸數五百噸未満ノ船舶ノ讓渡又ハ出資ニ關スル第十一條ノ許可
二 左ニ掲グル事項ニ關スル令第二十二條ノ規定ニ依ル處分

(イ) 總噸數五百噸未満ノ船舶ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料及運送賃
(ロ) 船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料

(ハ) 船舶ノ賣買、貸借若ハ運航委託又ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料
三 木船ノ製造ニ關スル第十三條又ハ第十七條ノ許可

船舶修理狀況報告書 (昭和 年 月分)

造船所名

船種																				
船名																				
所有者																				
總噸數																				
用途																				
檢査ノ種類																				
使用船渠番號																				
修繕日數																				
入渠日數																				
修繕甲板部																				

(昭和12) 111111

(昭和12) 111111

費	機	關	部																	
	鋼		板																	
	型		鋼																	
使用	銑		鐵																	
資	鍛		鋼																	
材	鑄		鋼																	
備	銅																			
考																				

記載心得

- (1) 長さ五十米以上ノ修繕船舶ニ付記載スベシ
- (2) 用途欄ニハ客船、貨客船、貨物船等ト記載スベシ
- (3) 備考欄ニハ特ニ長時日ヲ要シタルモノ又ハ特ニ多額ノ修繕費ヲ要シタルモノニ付其ノ理由ヲ記載スベシ
- (4) 檢査ヲ伴ハザル船舶ニ付テハ中間入渠、沖修理等參考事項ヲ備考欄ニ記載スベシ

第三號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7 74×105mm トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表 面)

一一八

(第十一) 一一五

(第十一) 一一五

海運統制令第二十四條ノ規定ニ依ル證票

第八條關係

一一九

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官	當
職	應
氏	印
名	該

1110

(通十三) 二四五

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

海運統制令第二十四條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ海運關係事業者、港灣運送業者若ハ海運仲立業者又ハ此等ノ者ノ團體ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶、工場其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

海運統制令第二十七條 第三條第一項、第四條第二項第三項、第六條、第七條、第九條、第十條、第十三條第一項、第十四條第一項、第十六條、第二十四條第一項及前條中遞信大臣トアルハ昭和十七年勅令第六十八號第一條ノ規定ニ依リ海軍大臣ノ管理スル事項ニ付テハ海軍大臣トス

海運統制令施行規則第四十七條 令第二十一條及第二十四條第一項ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ海務局長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第八條關係

一一一—一二七

製鐵用輸入原料配給等統制令

(昭和十五年七月三日) (總理、商工) 勅令第四百五十五號 (大臣副署)

改正 昭和十六年七月一日第七百三十二號

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

本令ニ於テ製鐵原料トハ鐵屑、銑鐵及鐵鑛ヲ謂フ

第二條 製鐵原料ノ輸入業者ハ其ノ輸入スル製鐵原料ヲ輸入ノ日ヨリ一月以内ニ商工大臣ノ指定シタル者(以下配給統制機關ト稱ス)ニ賣渡スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 商工大臣ハ前條ノ規定ニ依ル賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ價格、數量、賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ其ノ賣渡ヲ命ズルコトヲ得

商工大臣ハ前條ノ規定ニ依ル賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ其ノ配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第四條 配給統制機關ガ前條ノ規定ニ依リ賣渡シタル製鐵原料ヲ買受ケタル者ハ其ノ製鐵原料ヲ讓渡シ又ハ之ヲ製鐵用以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第三條ノ規定ニ依ル命令ニ因ル

(追十一) 二三五

通常生ズベキ損失(配給統制機關ガ賣渡シタル製鐵原料ノ價額ト其ノ買入價額ニ配給統制機關ノ手数料ヲ加算シタル額トノ差額ヲ含ムモノトス)トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ商工大臣之ヲ定ム

第六條 商工大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所、營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

附則

本令ハ昭和十五年七月八日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ノ規定ハ輸入業者ガ本令施行前ニ爲シタル賣渡ノ契約ニ係ル製鐵原料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該契約ノ當事者ヨリ申出アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八條關係

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條ノ證票ニ關スル件

(昭和十五年七月八日
商工省令第五十一號)

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表 面)

（面+1） 111111

（面+1） 111111

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條ノ證票

(裏面)

第 號

昭和 年 月 日交付

商工省印
官 職 氏 名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

(追十一) 二三八

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條 商工大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所、營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

(追十一) 二三九

〔參照〕

昭和十五年七月三日公布勅令第四百五十五號製鐵用輸入原料配給等統制令抄錄

第六條 商工大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所、營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第八條關係

一三三

製鐵用輸入原料配給等統制令附則第二項ノ施行ニ關スル件

(昭和十五年七月八日
商工省令第五十二號)

製鐵用輸入原料配給等統制令附則第二項ノ規定ニ依ル申出ヲ爲サントスル者ハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ當該製鐵原料ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ニ當該契約書ノ寫ヲ添附シ當事者連署ノ上之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

- 一 種類、數量及金額
- 二 賣渡ノ時期
- 三 賣渡ノ場所

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十五年七月三日附 勅令第四百五十五號製鐵用輸入原料配給等統制令抄錄

第二條 製鐵原料ノ輸入業者ハ其ノ輸入スル製鐵原料ヲ輸入ノ日ヨリ一月以内ニ商工大臣ノ指定シタル者(以下配給統制機關ト稱ス)ニ賣渡スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ

(進十一) 二四〇

受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附則第二項

第二條ノ規定ハ輸入業者ガ本令施行前ニ爲シタル賣渡ノ契約ニ係ル製鐵原料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該契約ノ當事者ヨリ申出アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

(進十一) 二四一

製鐵用輸入原料配給等統制令第二條ノ規定ニ依リ左ノ通

指定シ昭和十五年八月商工省告示第三百九十三號ハ之ヲ

廢止ス

(昭和十六年十月六日
商工省告示第八百九十五號)

鐵鋼原料統制株式會社

(第十一) 11211

(第十一) 11211

農業水利臨時調整令

(昭和十五年八月五日
勅令第五百十六號)

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基キ食糧農產物ノ生産ヲ確保スル爲旱魃等ニ際シ臨時應急ノ措置トシテ行フ農業水利調整ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 地方長官ハ關係アル市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ノ一人又ハ數人ノ申請ニ因リ區域ヲ指定シ農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

地方長官農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ル申請ナキモ區域ヲ指定シ農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

地方長官前二項ノ規定ニ依リ農業水利調整地域ヲ設定シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第三條 前條第三項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域ノ全部又ハ一部ヲ區域トスル市町村ノ市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ハ當該地域ノ調整管理者ト爲ル

地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ニ掲グル調整管理者ノ外適當ト認ムル者ヲ調整管理者ニ指定スルコトヲ得

調整管理者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク總代ヲ選任シ地方長官ニ届出ヅベシ

第八條關係

前項ノ規定ニ依リ總代ヲ選任スベキ場合ニ於總代ヲ選任セズ又ハ選任スルコト能ハザルトキハ
地方長官ハ第二項ノ規定ニ依ル調整管理者及農業水利調整地域内ノ農業水利ニ關シ利害共通ス
ト認ムル地域ノ全部又ハ一部ヲ區域トスル市町村ノ市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ
以テ定ムル法人ノ代表者ノ中ヨリ總代ヲ指定スベシ

第四條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク農業用水ノ分配其ノ
他農業用水ノ使用ニ關シ必要ナル農業水利調整計畫ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更
セントスルトキ亦同ジ

地方長官前項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ更生シテ認可スルコ
トヲ得

調整管理者又ハ總代第一項ノ農業水利調整計畫ヲ定メズ又ハ定ムルコト能ハザルトキハ地方長
官ハ農業水利調整計畫ヲ定ムルコトヲ得

地方長官第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ
定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第五條 調整管理者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業水利調整計畫ノ實施ニ關スル事項ヲ管理スルモ
ノトス

第六條 第四條第四項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域内ニ於テ農業用水ニ關シ權利ヲ有
シ又ハ農業用水ノ使用ヲ爲ス者ハ當該權利ノ行使又ハ農業用水ノ使用ニ付農業水利調整計畫ニ

(追十一) 二四五

從フベシ
前項ノ者ハ調整管理者ガ前條ノ規定ニ基キテ爲ス管理ヲ妨害スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 地方長官農業水利調整地域内ニ於ケル農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前條第
一項ノ者ノ爲ス當該地域内ノ農業水利施設ノ新設、變更若ハ廢止又ハ農業水利ニ關スル協定、

其ノ變更若ハ廢止其ノ他ノ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第八條 地方長官必要アリト認ムルトキハ農業水利調整計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ其ノ變更ヲ爲スコ
トヲ得

地方長官緊急ノ必要アリト認ムルトキハ農業水利調整地域設定後農業水利調整計畫ノ認可ニ至
ル迄ノ間ニ於テ調整管理者及第六條第一項ノ者ニ對シ臨時農業水利調整上必要ナル命令ヲ爲ス
コトヲ得

地方長官第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ命令
ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公示ス

第九條 地方長官ハ調整管理者ニ對シ其ノ行フ管理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 地方長官農業水利調整ノ必要ナキニ至リタルモノト認ムルトキハ農業水利調整地域ノ設
定ヲ取消シ又ハ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命ズルコトヲ得

農業水利調整計畫ノ實施期間終了シタルトキ又ハ地方長官前項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命ジタルトキハ農業水利調整地域ノ設定ハ取消サレタルモノトス

地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第十一條 農業水利調整ニ要スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第六條第一項ノ者ノ負擔トス

第十二條 農業水利調整ニ關スル相互報償ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當事者間ニ於テ協議ヲ爲スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官ノ裁定スル所ニ依ルベシ

地方長官前項ノ裁定ヲ爲サントスルトキハ道府縣農地委員會ノ議ヲ經ベシ

第十三條 農業水利調整地域ガ二以上ノ府縣ノ區域ニ渉ル場合ニ於テ關係地方長官本令ニ基ク處分ヲ爲サントスルトキハ協議スベシ

前項ノ協議調ハザルトキハ同項ノ處分ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クベシ但シ其ノ處分ガ河川、湖又ハ沼ニ關スル又ハ沼ニ關スルモノニシテ內務大臣ノ認可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ內務大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 地方長官本令ニ基ク處分ヲ爲サンスル場合ニ於テ其ノ處分ガ河川、湖又ハ沼ニ關スルモノニシテ內務大臣ノ認可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ內務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十五條 農林大臣及地方長官ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ農業水利調整ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ農業水利施設ノ存スル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其

(追十一) 二四六

(追十一) 二四七

ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 本令ノ規定ニ基ク處分アリタル場合ニ於テ其ノ處分ニ係ル事項ガ河川法第十七條乃至

第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ同法第二十條及第二十一條ノ規定ノ

適用ニ付テハ同法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ河川法第十七條乃至第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關スル行政廳ノ處分ニ對シテハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ズ

第十八條 本令ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ニ準ズルモノヲ含ム

附則

本令ハ昭和十五年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

農業水利臨時調整令施行規則

(昭和十五年八月九日
農林省令第六十六號)

第一條 農業水利臨時調整令(以下令ト稱ス)第二條第一項、第三條第一項及第四項ノ法人ハ北海道土功組合ニシテ用水又ハ排水ヲ施設維持スルモノ及耕地整理組合ニシテ灌溉排水ニ關スル事業ヲ行フモノトス

第二條 農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ豫メ當該申請地域ノ調整管理者タルベキ者ノ意見ヲ聽クベシ

農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ申請ノ事由、申請ノ區域及前項ノ意見ヲ記載シタル書類等ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第三條 地方長官農業水利調整地域ノ設定ヲ爲シタルトキハ設定ノ年月日、農業水利調整地域ノ名稱及區域ヲ公示スベシ

第四條 調整管理者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ一人又ハ數人ノ總代ヲ互選スベシ

第五條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ事務所ヲ設ケ事務所所在地及調整管理者(總代アルトキハ總代及調整管理者)ノ住所氏名ヲ地方長官ニ届出ツベシ

前項ノ届出アリタルトキハ地方長官ハ事務所所在地及調整管理者(總代アルトキハ總代及調整管理者)ノ氏名ヲ公示スベシ

(追十一) 二四八

(追十一) 二四九

第六條 調整管理者(總代アルトキハ總代)數人アル場合ニ於ケル職務執行ノ方法ハ調整管理者又ハ總代之ヲ定メ地方長官ニ届出ツベシ

第七條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ遲滞ナク農業水利調整計畫書ヲ作成スベシ

總代農業水利調整計畫書ヲ作成セントスルトキハ調整管理者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

農業水利調整計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 農業水利調整地域ノ名稱
- 二 事務所ノ所在地
- 三 農業水利調整地域ノ區域
- 四 農業水利調整ヲ必要トスル事由
- 五 農業水利調整ノ方法
- 六 農業水利調整計畫ノ實施期間
- 七 調整管理者及總代ノ職務權限
- 八 調整管理者ノ管理スベキ事項
- 九 農業水利調整計畫ヲ明瞭ナラシムル圖面
- 十 其ノ他必要ナル事項

第八條 農業水利調整計畫ノ認可ノ申請ヲ爲サントスル者ノ申請書ニ農業水利調整計畫書及相互

第八條關係

報償ニ關スル見込ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

總代ノ提出スル申請書ニハ前項ノ添附書類ノ外調整管理者ノ意見ヲ記載シタル書類、意見ヲ聽クコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第九條 前二條ノ規定ハ農業水利調整計畫ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 地方長官令第四條第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ認可又ハ處分ノ年月日及農業水利調整計畫ノ要領ヲ公示スベシ

第十一條 令第五條ノ規定ニ依リ調整管理者ノ行フ管理ハ農業水利調整計畫書ノ定ムル所ニ依ルベシ

第十二條 地方長官令第八條第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ同條第二項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ處分又ハ命令ノ年月日及處分又ハ命令ノ内容ヲ公示スベシ

第十三條 地方長官令第九條ノ規定ニ依リ調整管理者ノ職務執行ノ停止ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲シタルトキハ之ヲ公示スベシ

第十四條 地方長官令第十條第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ取消又ハ廢止ヲ命ジタル年月日ヲ公示スベシ

第十五條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算並ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

(追十一) 二五〇

(追十一) 二五一

總代前項ノ規定ニ依リ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算並ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メントスルトキハ調整管理者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第十六條 前條第一項ノ認可アリタルトキハ調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ農業水利調整ニ要スル費用ヲ取立テ之ヲ支拂ニ充ツベシ

第十七條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ會計ニ關スル細則ヲ定メ地方長官ニ届出ツベシ

第十八條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ農業水利調整計畫ノ實施期間終了後遲滞ナク農業水利調整ニ要シタル費用ノ收支決算書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十九條 農業水利調整ニ關スル相互報償ニ付テハ調整管理者(總代アルトキハ總代)其ノ原案ヲ作成シ協議ヲ爲スベキ期限ヲ指定シテ之ヲ當事者ニ提示スベシ

第二十條 前條ノ提示ヲ受ケタル者ハ其ノ原案ニ基キ相互報償ニ關スル協議ヲ爲スベシ
前項ノ協議調ヒタルトキハ調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ協議書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

前條ノ期限迄ニ第一項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ調整管理者又ハ總代ハ協議調ハザルトキハ其ノ願末書、協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ具シ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第二十一條 地方長官令第十二條第一項ノ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ調整管理者
(總代アルトキハ總代)ニ送付スベシ

調整管理者又ハ總代前項ノ裁定書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ當事者ニ揭示スベシ

第二十二條 調整管理者(總代アルトキハ總代)ハ農業水利調整計畫書、農業水利調整ニ要スル費
用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ記載シタル書類、會計ニ關スル細則、相互報償ニ
關スル書類其ノ他農業水利調整ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クベシ

第二十三條 地方長官本令ノ規定ニ基ク公示ヲ爲シタルトキハ關係アル市町村ノ市町村長ヲシテ
其ノ事項ヲ市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示セシムベシ

第二十四條 令第十五條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

第二十五條 本則ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ヲ準ズルモノヲ含ム

附則

本令ハ農業水利臨時調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス)

(表 面)

(通十一) 11511

(通十一) 11511

農業水利臨時調整令第十五條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官職氏名	農林省又ハ 廳府縣印
------	---------------

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

農業水利臨時調整令第十五條 農林大臣及地方長官ハ國家總動員法第三十一條ニ基キ農業水利調整ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農業水利施設ノ存スル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

農業水利臨時調整令施行規則第二十四條 令第十五條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

第八條關係

一四九

一四八

(連十一) 一四五

(連十三)

二四七

金屬類回收令

(昭和十六年八月三十日) (總理、遞信、鐵道、
勅令第八百三十五號) (拓務、商工大臣副署)

改正 昭和十八年三月三十一日第三百四十二號

一五〇

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分、使用及移動ニ關スル命令竝ニ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク回收物件ノ讓受ニ關スル協力命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ回收物件トハ鐵、銅又ハ黃銅、青銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスル物資ニシテ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 閣令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル回收物件(以下指定施設ニ於ケル回收物件ト稱ス)ニシテ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ當該回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ移動スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ指定スル者(以下回收機關ト稱ス)ニ讓渡スル場合及命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ前條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ一般ノ當該回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第五條 地方長官ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ勸告スルコトヲ得

(道十三) 二四八

(道十一) 二五七

第六條 指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ所有スル者ハ閣令ヲ以テ指定スル期日迄ニ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有スル者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ一般ノ命ズルコトヲ得

第八條 指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者第五條乃至前條ノ規定ニ依リ讓渡ノ申込ヲ爲シタルトキハ當該所有者又ハ當該回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ハ回收機關ノ請求ニ應ジ遲滯ナク當該回收物件ノ引渡ヲ爲スベシ

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ請求スルコトヲ得
回收機關前二項ノ規定ニ依リ當該回收物件ノ引渡ヲ受ケタルトキハ受領調書ヲ作り引渡ヲ爲シタル所有者又ハ占有者ニ之ヲ交付スベシ

第九條 撤去費其ノ他回收物件ノ引渡ニ要スル費用及修理費ハ回收機關ノ負擔トス
回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ特ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用トノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユルトキハ前項ノ費用ノ外

第八條關係

一五一

其ノ超過分ハ回收機關ノ負擔トス

前二項ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スベキ額ハ前條第二項ノ規定ニ依リ撤去又ハ引取アリタル場合ヲ除クノ外第十條ノ規定ニ依ル協議又ハ裁定ニ依リ定マル額トス

第十條 回收機關第五條乃至第七條ノ規定ニ依リ指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者ヨリ讓渡ノ申込ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該回收物件ノ讓渡價額及前條ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スベキ額(第八條第二項ノ規定ニ依ル撤去及引取ノ費用ノ額ヲ除ク)ニ付遲滞ナク當該所有者又ハ當該回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ト協議スベシ此ノ場合ニ於テ協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官之ヲ裁定ス

前項ノ場合ニ於ケル回收物件ノ讓渡價額、前條第一項ノ費用並ニ同條第二項ノ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ノ基準ハ商工大臣之ヲ定ム

第十一條 回收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該回收物件ニ關シテハ第三條乃至第七條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十二條 第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

(第十三)

二四九

第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ讓渡スベキ回收物件ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ當該回收物件ニ付其ノ讓渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受クベキ金錢及當該回收物件ニ付第九條第二項ノ超過分トシテ受クベキ金錢ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十三條 回收機關回收物件ヲ讓受ケタルトキハ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ對シ讓渡スル場合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外當該回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十四條 商工大臣ハ個人及法人其ノ他ノ團體ヲシテ回收機關ノ行フ回收物件ノ讓受其ノ他之ニ關聯スル業務ニ協力セシムルコトヲ得

第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第八條關係

第十七條 本令中地方長官トアルハ鑛業又ハ砂鑛業ニ屬スル施設ニ關シテハ鑛山監督局長、電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ遞信局長、地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長トス

遞信局長又ハ鐵道局長本令ニ規定スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ商工大臣ノ指揮監督ヲ承ク

第十八條 本令中商工大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事(電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局長、私設鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ朝鮮總督府鐵道局長)、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長(電氣事業又ハ私設鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ臺灣總督府交通局總長)、樺太ニ在リテハ樺太廳長官(地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長)、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

本令中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附則

本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(通十二) 一五〇

(通十一) 二六一

金屬類回收令施行規則

(昭和十六年九月一日) 商工省令第七十七號

改正 昭和十六年十二月二十四日第三百三號

第一條 金屬類回收令(以下令ト稱ス)第三條但書ノ規定ニ依ル回收機關ノ指定ハ當該規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者以外ノ者ニ付地方長官之ヲ爲スコトヲ得

第二條 令第三條但書及令第六條但書ノ命令ヲ以テ定ムル場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

- 一 製鐵事業者ガ其ノ事業場ニ備附ケタル回收物件ニシテ鐵ヲ主タル材料トスルモノヲ當該事業者ノ製鐵用原料トシテ使用スル場合
- 二 銅製鍊業者ガ其ノ事業場ニ備付ケタル回收物件ニシテ銅又ハ銅合金ヲ主タル材料トスルモノヲ當該事業者ノ製鍊用原料トシテ使用スル場合
- 三 法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ基キ回收物件ヲ讓渡スル場合
- 四 天災其ノ他緊急ノ事由アル場合
- 五 特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第三條 商工大臣ノ指定スル地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件(令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク)ニシテ商工大臣ノ指定スルモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者

第八條關係

ハ當該回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ移動スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 回收機關ニ讓渡スル場合

二 前條各號ニ掲グル場合

第四條 地方長官ハ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ前條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スルモノ以外ノモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ一般ノ當該回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第五條 第三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ第三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スルモノヲ所有スル者ハ商工大臣ノ指定スル期日迄ニ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スベシ但シ第二條各號ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 地方長官ハ指定施設ニ於ケル回收物件（令第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ除ク）ニシテ第三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スルモノ以外ノモノヲ所有スル者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ一般ノ命ズルコトヲ得

第七條 令第十條ノ規定ニ依リ回收機關ガ回收物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ト協議ヲ爲スベキ場

（連十一） 二六二

合ハ當該占有者ガ令第八條ノ規定ニ依リ請求ノ相手方タル場合ニ於テ當該回收物件ノ撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用ニ付協議ヲ爲ストキニ限ル

第八條 令第十條第一項ノ規定ニ依リ裁定ヲ申請セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル裁定申請書正副二通ヲ當該回收物件ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 申請人及相手方ノ氏名、名稱又ハ商號及住所

二 申請ノ目的及理由

三 回收物件ノ讓渡又ハ讓受價額、回收機關ニ於テ負擔スベキ費用及超過分並ニ此等ノ算出ノ基礎

四 其ノ他必要ナル事項

第九條 地方長官前條ノ裁定申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ相當ノ期間ヲ指定シテ答辯書ヲ提出セシムベシ地方長官ハ前條ノ裁定申請書ヲ受理シタル日ヨリ三週間以内ニ裁定ヲ爲スベシ

第十條 令第十三條ノ命令ヲ以テ定ムル場合トハ左ニ掲グル場合トス

一 令第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ讓渡スル目的ヲ以テ回收物件ヲ讀受クル回收機關ニ當該回收物件ヲ讓渡スル場合

二 令第十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル回收機關ガ回收物件ヲ讓渡又ハ委託製鍊スル場合

第八條關係

（連十一） 二六三

第十一條 商工大臣ハ土木建築業者及運輸業者並ニ其ノ團體ヲシテ令第十四條ノ協力ヲ爲サシムルコトアルベシ

地方長官ハ前項ニ掲グル者ヲシテ令第十四條ノ協力ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條 第二條第五號、第三條第二號又ハ第五條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ當該回收物件ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 回收物件ノ名稱及數量
- 二 回收物件ノ材料タル鐵、銅及銅合金ノ物件別種類別推定重量
- 三 回收物件ノ所在場所及用途
- 四 許可ヲ受ケントスル事由

第十二條ノ二、令第十五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第十三條 本則中地方長官トアルハ第一條及第十一條ニ規定スル場合ヲ除クノ外鑛業又ハ砂鑛業ニ屬スル施設ニ關シテハ鑛山監督局長、電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ遞信局長、地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長トス

附則

本令ハ金屬類回收令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格B列八番ニ依ルモノトス)

(追十二)

二六四

(追十一)

二六五

(表面)

第 號

官 氏 名

金屬類回收令ニ基ク臨檢検査證

當該官廳印

年 月 日交付

當 該 官 廳

第八條關係

(裏面)

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

金屬類回收令第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

(通十一) 二六六

(通十一) 二六七

回收物件及施設指定規則

(昭和十六年九月一日
閣令第二十號)

第一條 金屬類回收令第二條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ指定スルコト左ノ如シ但シ船舶、航空機及此等ニ準ズルモノニ備附ケタルモノヲ除ク

一 鐵ヲ主タル材料トスルモノ(磁瑯引ノモノヲ除ク)

看板

階段(機械又ハ裝置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)

傘立

脚立

喫煙用器具

車渡鐵板

屑入

揭示板

交通標識(信號用ノモノヲ除ク)

廣告板

廣告塔

第八條關係

一六一

一六〇

格子

焜爐

柵

仕切用金物(カウンタースクリーンヲ含ム)

敷板(機械又ハ装置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)

シャンデリヤ

自轉車置

書箱

石炭用バケツ

洗面器臺

柵

煖房装置前飾金物

手摺及欄干(機械、装置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)

泥拭器

戸柵及ロッカー

ネームプレート、コーションプレート其ノ他ノ標札類

旗竿

梯子(機械又ハ装置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)

破損止金物

日除用金物(店舗用ノモノヲ除ク)

火鉢

塀

帽子掛スタンド

本立(ブックエンドヲ含ム)

マンホール蓋(機械ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)

溝蓋

水桶(水鉢ヲ含ム)

門柱

門扉

物干

床下換氣口金物

二 銅又ハ黄銅、青銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスルモノ

第八條關係

押板
 置物
 看板
 壁張板(炊事場、流場又ハ風呂場ノ羽目板ヲ除ク)
 階段止
 カーテン用金物(線引カーテン用ノモノヲ除ク)
 傘立
 花器
 菓子器
 喫煙用器具
 屑入
 揭示板
 蹴板
 格子
 焜爐
 棚

(通十一) 二七〇

(通十一) 二七一

皿

仕切用金物(カウンタースクリーンヲ含ム)
 シャンデリヤ
 洗面器
 洗面器臺
 棚
 暖房装置前飾金物
 痰壺
 茶器
 吊下手洗器
 手摺及欄干(機械、装置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)
 戸及扉
 泥拭器
 ネームプレート、コーションプレート其ノ他ノ標札類
 軒樋、呼樋及豎樋(内樋ヲ除ク)
 破損止金物

第八條關係

- 番號札
- 庇葺板
- 日除用金物(店舗用ノモノヲ除ク)
- 火鉢
- 帽子掛スタンド
- 盆
- 本立(ブックエンドヲ含ム)
- 水桶(水鉢ヲ含ム)
- 門柱
- 門扉
- 門、柱、壁、天井又ハ庇廻ノ裝飾金物
- 屋根葺板
- 藥罐
- 郵便受口

第二條 金屬類回收令第三條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ指定スルコト左ノ如シ但シ船舶、航空機及此等ニ準ズルモノニ備附ケタルモノヲ除ク

(第十一) 一七二

(第十一) 一七三

- 一 鐵ヲ主タル材料トスルモノ(磁瑯引ノモノヲ除ク)
- 看板
- 傘立
- 脚立
- 喫煙用器具
- 車渡鐵板
- 屑入
- 揭示板
- 交通標識(信號用ノモノヲ除ク)
- 廣告板
- 廣告塔
- 格子
- 柵
- シャンデリヤ
- 自轉車置
- 石炭用バケツ

第八條關係

暖房装置前飾金物
 手摺及欄干(機械、装置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)
 泥拭器
 ネームプレート、コーションプレート其ノ他ノ標札類
 旗竿
 梯子(機械又ハ装置ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)
 破損止金物
 日除用金物(店舗用ノモノヲ除ク)
 塀
 帽子掛スタンド
 マンホール蓋(機械ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)
 溝蓋
 水桶(水鉢ヲ含ム)
 門柱
 門扉
 床下換氣口金物

(進十一) 二七四

二 銅又ハ黄銅、青銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスルモノ

押板
 置物
 看板
 壁張板(炊事場、流場又ハ風呂場ノ羽目板ヲ除ク)
 カーテン用金物(線引カーテン用ノモノヲ除ク)
 傘立
 花器
 喫煙用器具
 屑入
 掲示板
 蹴板
 格子
 柵
 シェンデリヤ
 洗面器

(進十一) 二七五

暖房裝置前飾金物

吊下洗手器

手摺及欄干(機械、裝置又ハ橋梁ト一體ヲ爲シタルモノヲ除ク)

泥拭器

ネームプレート、コーションプレート其ノ他ノ標札類

軒樋、呼樋及堅樋(内樋ヲ除ク)

破損止金物

番號札

庇葺板

日除用金物(店舗用ノモノヲ除ク)

帽子掛スタンド

水桶(水鉢ヲ含ム)

門柱

門扉

郵便受口

第三條 金屬類回收令第三條ノ規定ニ依リ施設ヲ指定スルコト左ノ如シ但シ北海道地方費、府、

(道十一) 二七六

縣並ニ市、町、村及此等ニ準ズルモノノ所有又ハ管理ニ屬スルモノヲ除ク

一 常時十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ノ事業ノ用ニ供スル工場其ノ他ノ施設(當該事業ノ用

ニ供スル共同住宅其ノ他ノ住宅及當該事業主ノ所有ニ屬セザル寄宿舎、合宿所其ノ他之ニ準ズルモノヲ除ク以下之ニ準ズ)

二 常時十人以上ノ使用人ヲ使用スル物品販賣業ノ事業ノ用ニ供スル店舗其ノ他ノ施設

三 鑛業又ハ砂鑛業ノ用ニ供スル事業場其ノ他ノ施設

四 銀行、信託會社、保險會社又ハ無盡會社ノ營業所其ノ他ノ施設

五 倉庫業法ノ適用ヲ受クル倉庫營業、私設保稅倉庫營業又ハ農業倉庫ノ事業ノ用ニ供スル倉庫其ノ他ノ施設

六 取引所ノ市場其ノ他ノ施設

七 地方鐵道、軌道又ハ索道事業ノ用ニ供スル事務所、車輛其ノ他ノ施設及專用鐵道ノ車輛其ノ他ノ施設

八 電氣事業ノ用ニ供スル事務所、電氣工作物其ノ他ノ施設

九 瓦斯事業ノ用ニ供スル事務所、瓦斯工作物其ノ他ノ施設

十 旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業又ハ貨物自動車運送事業ノ用ニ供スル車庫、車輛其ノ他ノ施設

第八條關係

(道十三) 二五一

- 十一 私立學校ノ校舍其ノ他ノ施設
- 十二 診療所取締規則ニ依ル病院若ハ齒科診療所取締規則ニ依ル齒科病院又ハ其ノ附屬施設
- 十三 觀客定員二百五十人以上ノ劇場、映畫興行場、演藝場若ハ觀物場又ハ其ノ附屬施設
- 十四 客席面積ノ合計百平方米以上ノ旅館、料理屋、飲食店、待合若ハ貸座敷又ハ其ノ附屬施設
- 十五 床面積三百平方米以上ノ建物ニシテ區劃シテ二以上ノ經營者ノ用ニ供スルモノ又ハ其ノ附屬施設
- 十六 水利組合、土地區劃整理組合、酒造組合、產業組合、商業組合、同業組合、造船組合、自動車運送事業組合、海外移住組合、健康保險組合其ノ他特別ノ法律ニ基キ設立セラレタル組合又ハ其ノ聯合會ノ事務所其ノ他ノ施設
- 十七 商工會議所、農會、醫師會、產業組合中央會、商工組合中央會、產業組合中央金庫、恩給金庫其ノ他特別ノ法律ニ基キ設立セラレタル法人ノ事務所其ノ他ノ施設
- 十八 民法第三十四條ノ規定ニ依ル法人ノ事務所其ノ他ノ施設
- 十九 前各號ニ掲グルモノノ外資本金（出資總額、株金總額又ハ出資總額及株金總額ノ合計額ヲ謂フ）十萬圓以上ノ會社ノ營業所其ノ他ノ施設

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（第十三）

二五二

（第十三）

二五三

物資統制令

(昭和十六年十二月十六日) (總理、內務、農林、拓務、厚生、大藏、商工大臣副署)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク國民經濟ノ運行又ハ國民生活ノ安定ヲ確保スル爲統制ヲ必要トスル物資(以下統制物資ト稱ス)ニ關スル統制及其ノ統制事務ニ付テノ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク協力命令ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 主務大臣ハ統制物資ノ生産、加工ヲ含ム以下同ジ)若ハ修理ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三條 主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ讓渡ノ時期、價格、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ統制物資ノ讓渡ヲ命ズルコトヲ得 主務大臣特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ニ掲グル者以外ノ者ニシテ統制物資ヲ所有スルモノニ對シ亦前項ニ同ジ

第四條 主務大臣前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ權原ニ基キ當該統制物資ヲ占有スル者ニ對シ引渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ之ガ引渡ヲ命ズ

(通十一) 二九九

ルコトヲ得

第五條 主務大臣統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲第三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方ヲシテ其ノ對價ヲ供託セシムベシ此ノ場合ニ於テハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方其ノ供託ヲ爲シタル時當該統制物資ノ讓渡ヲ受ケタルモノト看做ス

第六條 統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ハ主務大臣ノ指定スル者ガ讓渡ヲ受クベキ統制物資ノ種類、數量及價格、讓渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ガ讓渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 權原ニ基キ統制物資ヲ占有スル者ハ前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ガ同條ノ規定ニ依リ統制物資ノ讓渡ヲ受ケタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト能ハザル場合ニ於テ引渡ヲ受クル統制物資ノ種類及數量、引渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ガ引渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條關係

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト能ハザル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ統制物資ノ引渡ヲ受クルトキハ其ノ對價ヲ供託スベシ

第五條後段ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ統制物資ノ讓渡ニ關シ數量、時期、方法、相手方、配給區域其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 主務大臣ハ統制物資ノ讓受ニ關シ數量、時期、方法、相手方其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條 主務大臣ハ統制物資ノ寄託、保管、保有、質入其ノ他ノ處分又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十二條 統制物資ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該統制物資ニ關シテハ第二條乃至第四條、第六條、第七條又ハ第

(通十一) 三〇〇

(通十一) 三〇一

九條乃至前條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十三條 第三條、第五條、第六條又ハ第八條ノ規定ニ依ル統制物資ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

第三條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ命ゼラレ又ハ第六條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ求メラレタル統制物資ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ當該統制物資ノ讓渡ヲ受クル者ハ其ノ對價ヲ供託スベシ
第三條若ハ第六條又ハ第四條若ハ第七條ノ規定ニ依ル統制物資ノ讓渡又ハ引渡アリタル場合ニ於テハ當該統制物資ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ所有權移轉ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ

第三條若ハ第四條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ命ゼラレ又ハ第六條若ハ第七條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ求メラレタル統制物資ニ付擔保權ヲ有シタル者ハ第五條、第八條又ハ第二項ノ規定ニ依ル供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理、販賣其ノ他配給、保管、保有、移動又ハ使用若ハ消費ニ關シ計畫ノ設定又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 主務大臣ハ統制物資ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者ニ對シ統制物資ノ使用又ハ消費ニ關シ必

要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十六條 主務大臣ハ統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ帳簿ヲ備ヘ業務ニ關シ必要ナル事項ノ眞實ナル記載ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條 第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者同條又ハ第七條ノ認可ヲ受ケ統制物資ノ讓渡又ハ引渡ヲ求メントスル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ必要ナル報告ヲ求メタル場合ニ於テハ此等ノ者又ハ其ノ團體ハ之ヲ拒ミ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ第二條乃至第四條、第六條、第七條、第九條乃至第十一條又ハ第十五條ノ規定ニ基ク處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

第十九條 主務大臣ハ個人又ハ法人其ノ他ノ團體ヲシテ本令ニ依ル統制物資ノ統制上必要ナル事務ニ協力セシムルコトヲ得

第二十條 主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係者ヨリ統制物資ニ關スル統制又ハ其ノ統制事務ニ付テノ協力ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店

(連十一) 三〇一一

(連十二) 三〇三三

舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ統制物資、書類、帳簿等ヲ検査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十一條 主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)又ハ當該主務大臣ノ所轄スル官衙ノ長ニ委任スルコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ必要アリト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ベキモノヲシテ本令ニ依ル統制物資ニ關スル統制ノ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得
前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第二十三條 内地ニ於テ本令中第十一條及第十四條ノ規定ニ依ル保管ニ關スル命令又ハ處分及之ニ必要アル他ノ規定ノ施行ニ關スル主務大臣ハ物品ノ保管ヲ業トスル者ヲ其ノ業ニ關スル法令ニ依リ監督スル所管大臣アルトキハ當該所管大臣トス

第二十四條 第二十一條中地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)ニ關スル規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

第二十五條 本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ第二十一條中地方長官(東京府ニ

在リテハ警視總監ヲ含ムトアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長ト
ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
生活必需物資統制令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本
令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス
本令施行前生活必需物資統制令ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命令ニ基キテ爲
シタル命令若ハ處分ハ之ヲ本令中ノ相當規定ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命
令ニ基キテ爲シタル命令若ハ處分ト看做ス

生活必需物資指定規則

(昭和十六年四月一日
閣 令 第 五 號)

改正 昭和十六年第一四號、第二三號

生活必需物資統制令第二條ノ規定ニ依リ同令ヲ適用スベキ生活必需物資ノ種類ヲ定ムルコト左ノ
如シ

- 一 農林大臣ノ定ムル食糧農産物及其ノ加工品
- 二 農林大臣ノ定ムル鮮魚介類
- 三 農林大臣ノ定ムル食糧畜産物
- 四 厚生大臣ノ定ムル醫藥品及衛生材料

附 則

本令ハ生活必需物資統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鮮魚介配給統制規則

(昭和十六年四月一日)
農林省令第十四號

一一〇〇

第一條 生活必需物資統制令ニ依ル鮮魚介ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本則ニ於テ鮮魚介トハ海産性ノ魚類(皮附ノ鮫類ヲ除ク)、貝類、えび類及かに類ニシテ生鮮ナルモノ竝ニいか類及たこ類ニシテ生鮮ナルモノ(冷凍物ヲ除キ薄鹽物、蒸茄物及輕度ノ乾燥ヲ施シタルモノヲ含ム)ヲ謂フ

第三條 販賣ノ目的ヲ以テ農林大臣ノ指定シタル地(以下指定陸揚地ト稱ス)ニ鮮魚介ヲ搬入スル者ハ其ノ搬入シタル鮮魚介ヲ當該指定陸揚地ニ付農林大臣ノ指定シタル集荷場(以下指定集荷場ト稱ス)ニ搬入スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 指定陸揚地ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ガ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍内ニ於テ鮮魚介ヲ搬入シタル場合

二 正味十貫ヲ超エザル數量ノ鮮魚介ヲ搬入シタル場合

三 特別ノ事由ニ因リ指定陸揚地ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第四條 農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ指定陸揚地毎ニ左ニ掲グルモノノ組織スル團體ニ對シ當該指定陸揚地ノ指定集荷場ニ搬入セラルル鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトアルベシ

(追十二) 三〇六

一 指定集荷場ノ開設者

二 鮮魚介ヲ漁獲シ之ヲ指定陸揚地ニ搬入フル者又ハ其ノ組織スル團體

三 鮮魚介ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケ之ヲ指定陸揚地ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

四 指定集荷場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

第五條 前條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル團體ハ同條ノ計畫ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

農林大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

第六條 第四條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル團體前條第一項ノ承認ヲ受ケタル團體前條第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷ニ關シ必要ナル指圖ヲ爲スベシ

第七條 鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體前條ノ指圖ヲ受ケタルトキハ之ヲ遵守スルコトヲ旨トスベシ

農林大臣第四條ノ計畫ノ實施上特ニ必要アリト認ムルトキハ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第八條 農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ其ノ指定シタル地域(以下指定消費地域ト稱ス)内ニ鮮魚介ヲ搬入スル者ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又

第八條關係

一一〇一

(追十二) 三〇七

ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトアルベシ
第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 指定消費地域内ニ當該地域外ヨリ鮮魚介ヲ搬入スル者ハ當該指定消費地域ニ付農林大臣
ノ指定シタル市場(以下指定消費市場ト稱ス)ノ賣買取引ニ依ルニ非ザレバ其ノ搬入シタル鮮魚
介ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ガ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍
内ニ於テ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲ス場合

二 一日正味十貫ヲ超エザル數量ノ鮮魚介ヲ販賣スル場合

三 特別ノ事由ニ因リ指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十條 鮮魚介ノ小賣ヲ爲ス者又ハ業務上鮮魚介ノ消費ヲ爲ス者ニシテ指定消費地域内ニ住所、
居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ當該指定消費地域内ニ所在スル指定消費市場
其ノ他鮮魚介ノ販賣ヲ爲ス者ノ販賣場以外ヨリ當該指定消費地域内ニ於テ賣渡シ又ハ消費スル
鮮魚介ヲ買受ケ(買入ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同ジ)又ハ販賣ノ委託ヲ受クルコトヲ得ズ但
シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 正味五貫ヲ超エザル數量ノ鮮魚介ヲ買受クル場合

二 特別ノ事由ニ因リ指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十一條 農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ指定消費市場ニ於テ賣買取引ヲ
爲ス者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ當該指定消費市場ニ於テ賣買取引セラルル鮮魚介ノ出荷
先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコ
トアルベシ

第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 地方長官當該道府縣ニ於ケル鮮魚介ノ需給調整上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ掲
グル者又ハ團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要
ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトヲ得

一 集荷場ノ開設者

二 鮮魚介ヲ漁獲シ之ヲ集荷場ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

三 鮮魚介ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケ之ヲ集荷場ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

四 集荷場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

五 前各號ニ掲グルモノノ組織スル團體

第五條及至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ第五條及第七
條第二項中農林大臣トアルハ地方長官トス

第十三條 總噸數五噸以上ノ船舶ヲ以テ鮮魚介ノ陸揚ヲ爲ス者ハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除

クノ外當該船舶ニ付其ノ陸揚地ヲ定メ陸揚地ノ地方長官ニ届出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

農林大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ者ニ對シ同項ノ船舶ニ付其ノ陸揚地ヲ指定スルコトアルベシ

第十四條 鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ鮮魚介ノ販賣若ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者ニシテ内地ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ販賣ノ目的ヲ以テ内地以外ノ地域ニ農林大臣ノ指定シタル鮮魚介ヲ搬出スルコトヲ得ズ

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ搬出ヲ爲スコトヲ得ル者ヲ指定スルコトアルベシ

第十五條 前條第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣

ニ提出スベシ

- 一 種類及數量
- 二 仕向地及仕向港又ハ仕向驛
- 三 積出港又ハ積出驛
- 四 搬出時期

(通十一) 三二〇

(通十一) 三二一

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者前項各號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

第十六條 農林大臣又ハ地方長官鮮魚介ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ掲グル者又ハ團體ニ對シ鮮魚介ノ讓渡、讓受又ハ移動ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

- 一 集荷場ノ開設者
- 二 鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體
- 三 鮮魚介ノ販賣若ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體
- 四 業務上鮮魚介ノ消費ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

第十七條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ掲グル者又ハ團體ニ付鮮魚介ノ配給統制上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十三條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條第一項ノ規定ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式(用紙ノ大キサハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表面)

生活必需物資統制令第十三條ノ規定ニ依ル證票

(通十一) 三三三

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

(通十一) 三三三

農林省又ハ廳府 縣印 官 職 氏 名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第八條關係

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

生活必需物資統制令第十三條 主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係者ヨリ生活必需物資ニ關スル統制又ハ其ノ統制業務ニ付テノ協力ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ生活必需物資、書類、帳簿等ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

鮮魚介配給統制規則第十七條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ掲グル者又ハ團體ニ付鮮魚介ノ配給統制上必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十三條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

（第十一） 三二五
（第十一） 三二五

鮮魚介配給統制規則第三條ノ規定ニ依リ陸揚地及當該陸揚地ニ付テノ集荷場左ノ通指定シ昭和十六年五月二十日ヨリ之ヲ施行ス
（昭和十六年五月十七日）
（農林省告示第三百號）

改正 昭和十六年六月二十八日第四百二十七號、昭和十七年二月二日第五百十八號、昭和十七年五月四日第二百七十二號

道府縣名	指定陸揚地	指 定 集 荷 場
北海道	稚内町	（株式會社）丸北稚内魚菜卸賣市場
	紋別町	無限責任紋別漁業協同組合魚菜卸賣市場
	網走町	（株式會社）網走魚菜卸賣市場
	根室町	無限責任根室漁業協同組合魚菜卸賣市場
	釧路市	無限責任根室漁業協同組合魚菜卸賣市場花咲分場
		（株式會社）釧路魚卸賣市場
		（株式會社）釧路魚卸賣市場錦町分場
浦河町		（株式會社）釧路魚卸賣市場大町分場
		無限責任釧路市漁業協同組合橋南共同販賣所
		保證責任浦河漁業協同組合魚菜卸賣市場

第八條關係